



三原市 尾道市 福山市
府中市 竹原市 世羅町
神石高原町 笠岡市 井原市



びんご圏域 多文化共生 推進ビジョン

目次

第1章 ビジョン策定にあたって

- 1 ビジョン策定の背景と趣旨 3
- 2 ビジョンの位置付け等 4
- 3 ビジョンの期間 6
- 4 用語の定義 6

第2章 在留外国人の現状

- 1 国・県の動向 8
- 2 備後圏域の外国人の現状 10

第3章 基本的な考え方と施策体系

- 1 基本理念 24
- 2 基本方針と施策体系 25
- 3 基本方針と施策の方向性 26

第4章 ビジョンの推進

- 1 多様な主体との連携 33
- 2 推進体制 33

資料編 各種調査からみる状況



第1章

ビジョン策定にあたって

1

ビジョン策定の背景と趣旨

近年、外国人住民の増加及び多国籍化が進んでいます。国においては、2020年（令和2年）に「地域における多文化共生推進プラン」を改訂し、国籍や民族等の異なる人々が、互いの文化を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生の取組を推進しています。

福山市を連携中枢都市とした、三原市、尾道市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市及び井原市で構成された備後圏域においても、外国人人口は年々増加し、近年ではベトナムをはじめとした東南アジア諸国出身者の増加等による多国籍化、在留資格の構成の変化など、備後圏域を取り巻く環境は大きく変化しています。

備後圏域7市2町は、日常生活圏が広島県と岡山県の県境を越えて重なっており、外国人住民も市町を越えて通勤などで移動し生活しています。地域の活性化を始め、多文化共生社会の実現に向けて、備後圏域全体で連携しながら取り組むことで、より一層効果的なものとしていくことができます。

こうした状況を踏まえ、備後圏域における外国人住民を取り巻く現状や課題を明らかにし、備後圏域7市2町で共通の方向性を持ち、多文化共生の取組を推進していくための「びんご圏域多文化共生推進ビジョン」を策定します。

2 ビジョンの位置付け等

(1) ビジョンの位置付け

本ビジョンは、福山市を連携中枢都市とし、三原市、尾道市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市及び井原市で構成された備後圏域が、各地域の独自性や個性を生かす中で、一体的に発展していくための新たな成長戦略として策定された「びんご圏域ビジョン」と整合を図るものとします。



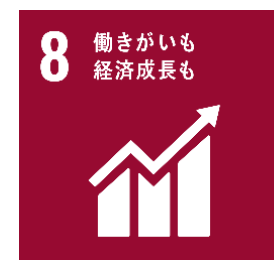
びんご圏域ビジョン



(2) SDGs との関係

本ビジョンは、SDGs（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals）の目標1「貧困をなくそう」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標10「人や国の不平等をなくそう」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標16「平和と公正をすべての人に」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の目標に関連付けられ、この8つの目標達成に向けて取組を進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs について
(外務省ホームページ)



3 ビジョンの期間

2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）までの5年間を対象期間とします。

※びんご圏域ビジョンの計画期間：第2期：2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）

第3期：2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）

4 用語の定義

「多文化共生」とは

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」

（総務省：「多文化共生の推進に関する研究会報告書」より）

「外国人住民」とは

「住民」とは、当該市町の区域内に住所を有する人のことをいいますが、備後圏域の市町以外に住所を持ち、備後圏域市町に通勤や通学をしている人もいます。

また、「出入国管理及び難民認定法」では「外国人」を、日本の国籍を有しない者と定めていますが、市内や備後圏域市町には日本国籍を有しながらも様々な文化的背景を持つ人や、外国籍を持ちながらも生活者として長く住んでいる人もいます。

このプランでは、日本国籍の有無にかかわらず外国にルーツを持ち、本市や備後圏域に関わりのある人を「外国人住民」という言葉で表現します。



第2章

在留外国人の現状

1 国・県の動向

(1) 国の動向

日本で暮らす外国人の人数は、2023年（令和5年）12月末時点で341万人を超え過去最高となり、増加しています。また、多国籍化も進んでいます。

国はこれまで、外国人を取り巻く環境の変化に対応するため、外国人の受入れ環境整備と共生社会づくりに取り組んできました。特に2018年（平成30年）以降は、深刻化する人手不足などを背景に、特定技能制度の導入や、「日本語教育の推進に関する法律」を施行するなど、多文化共生の取組を進めています。

年	国の動き
2018年（平成30年）	・「外国人の受入れ環境の整備に関する業務の基本方針について」を閣議決定。 ・新たな在留資格「特定技能」を創設。人手不足が深刻な14の産業分野において、外国人の就労が可能となる。 ・「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を策定。共生社会の実現に向けた、めざすべき方向性を示す。
2019年（令和元年）	・「日本語教育の推進に関する法律」を施行。多様な文化を尊重した活力ある共生社会を実現するため、日本語教育に関する施策を推進。
2020年（令和2年）	・「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」（文化庁）を開始。「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図る。 ・「地域における多文化共生推進プラン」（総務省）を改訂。
2022年（令和4年）	・「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」（外国人の受入れ・共生に関する関係閣僚会議）を策定。国のめざすべき外国人との共生社会のビジョンや取り組むべき施策等を示す。
2024年（令和6年）	・技能実習に代わる新たな制度として「育成就労」※を新設するための関連法「出入国管理及び難民認定法及び外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律の一部を改正する法律」が、国会で成立。

※在留資格「技能実習」を廃止し、創設される在留資格。「育成就労産業分野」（特定産業分野のうち就労を通じて技能を習得させることが相当なもの）に属する技能を要する業務に従事すること等を目的とする。

（２）広島県の動向

広島県においては、2020年（令和2年）12月に策定した「安心・誇り・挑戦ひろしまビジョン」を基本とし、将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現に向け、「安心」の土台と「誇り」の高まりにより、県民一人ひとりが夢や希望に「挑戦」できる社会をめざしています。

また、2021年（令和3年）に、「日本語教育の推進に関する法律」に規定する地方公共団体の責務を踏まえ、県及び市町が連携して取り組むべき方針として、「地域日本語教育の総合的な体制づくりに向けた広島県アクションプラン」[対象期間:2021年度（令和3年度）から2023年度（令和5年度）]を策定しました。地域に在住する外国人住民等が、日本語を学ぶことができ、また、社会の一員として、孤立することなく地域活動に参加できる環境を整備するため、関係機関が連携して、地域コミュニティ拠点としての地域日本語教室の拡充に取り組んできました。

そして、2024年（令和6年）には、これまでの取組を踏まえ、「地域日本語教育の総合的な体制づくりに向けた広島県アクションプラン」[対象期間:2024年度（令和6年度）から2025年度（令和7年度）]に改訂しました。

（３）岡山県の動向

岡山県においては、2021年（令和3年）4月に、岡山県において最上位に位置付けられる「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」が策定され、グローバルな視点を持って豊かな地域社会の創造・発展に貢献するグローバル人材の育成や、日本人と同様に外国人住民が地域で安心して生活することができ、社会の一員として地域を支える多文化共生の地域づくりが盛り込まれました。

また、2024年（令和6年）には、プランの基本目標及び長期構想の実現に向けて、国際化の施策推進の方向性を示す、国際化施策推進方針を策定しました。岡山県では、本方針を総務省が策定した「地域における多文化共生推進プラン」における、多文化共生の推進に関する指針・計画及び地域日本語教育の推進に関する法律に基づく「日本語教育の推進に関する基本的な方針」として位置付けています。

2 備後圏域の外国人の現状

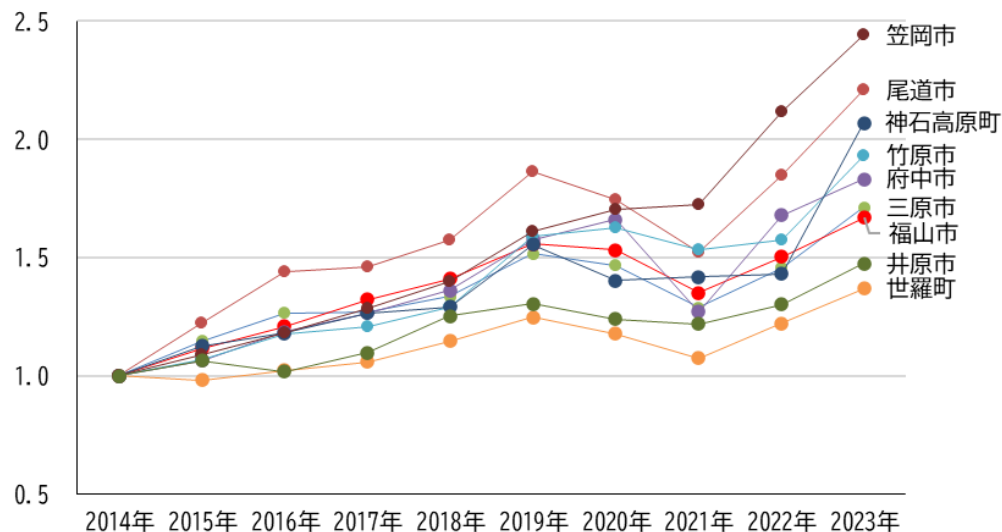
(1) 人口推移

備後圏域における、外国人は増加傾向にあります。

2014年（平成26年）の外国人を1とした伸び率をみると、2023年（令和5年）で福山市は約1.6倍ですが、最も増加率が高い笠岡市は約2.4倍で、次いで、尾道市が約2.2倍となり、いずれの市町も増加傾向となっています。

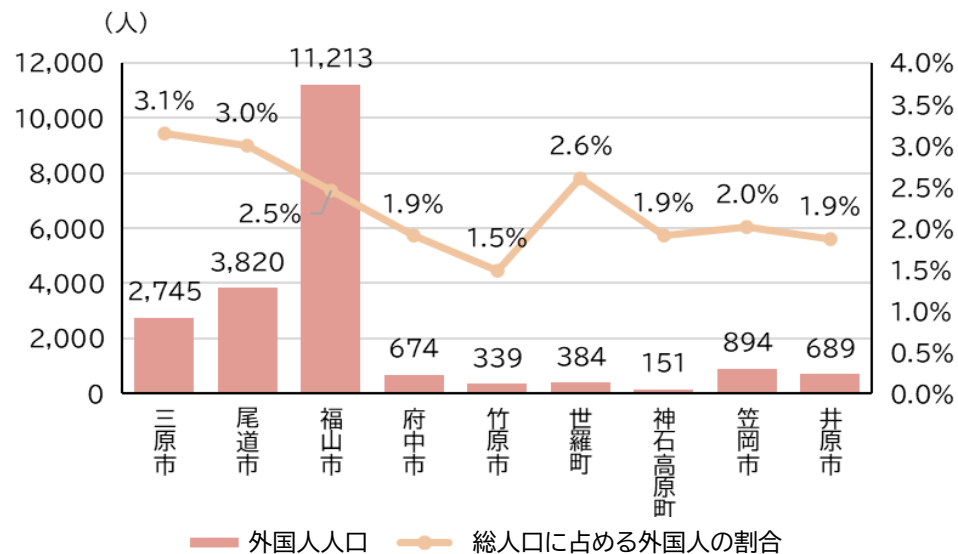
2024年（令和6年）5月末の外国人は、福山市が最も多くなっていますが、総人口に占める割合では三原市の約3.1%が最大となっています。備後圏域全体の外国人は20,909人で、全体人口の約2.5%が外国人となっています。

■外国人の人口増加率



資料：法務省 在留外国人統計(各年12月末)より算出

■外国人人口と総人口に占める割合



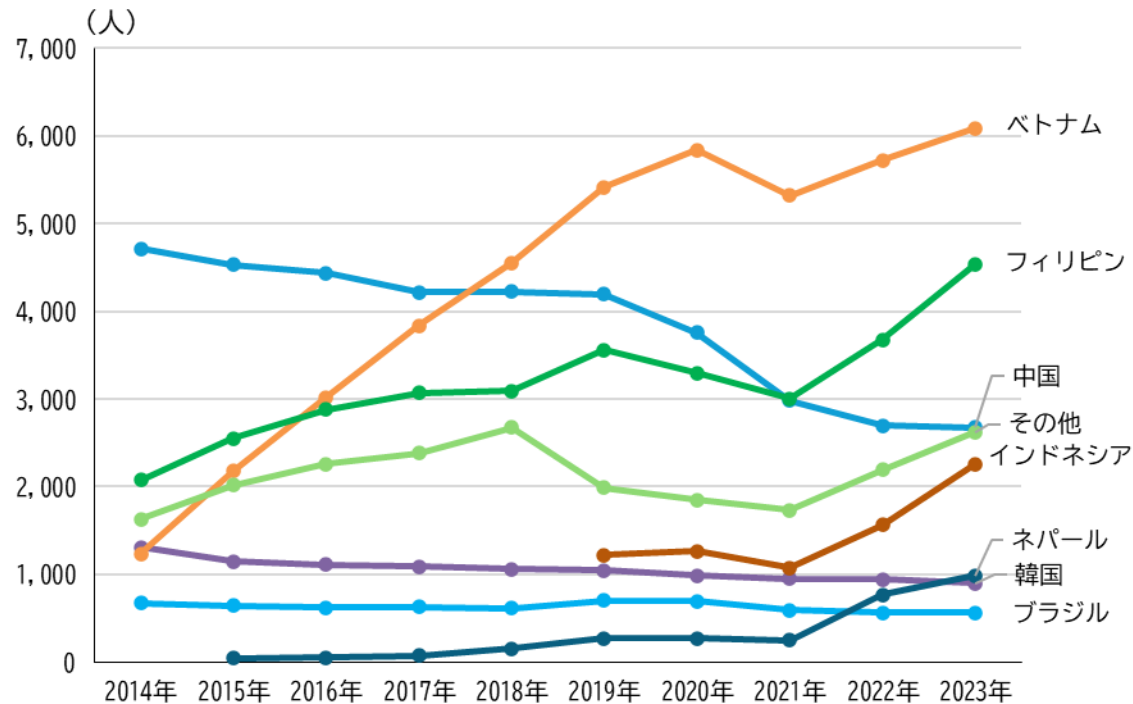
資料：備後圏域各市町(2024年5月末)

(2) 国籍・地域別の状況

備後圏域全体の外国人を国籍・地域別でみると、近年ではベトナム、フィリピンなどの東南アジアからの人口が急激に増加し、中国を超えて上位を占めています。また、インドネシアやネパールからの人口も増加しています。

一方で、中国や韓国、ブラジルは減少傾向にあります。

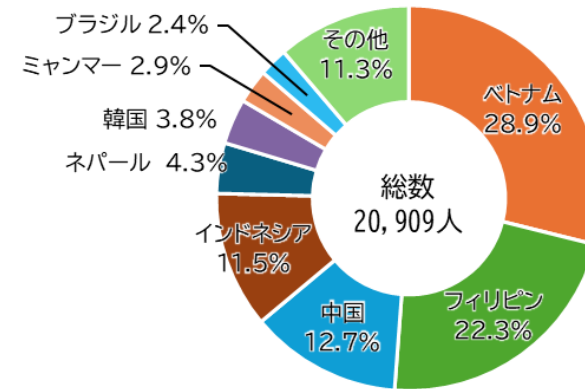
■国籍・地域別の推移



※主な国籍・地域別の人口推移を記載

資料：法務省 在留外国人統計(各年12月末)

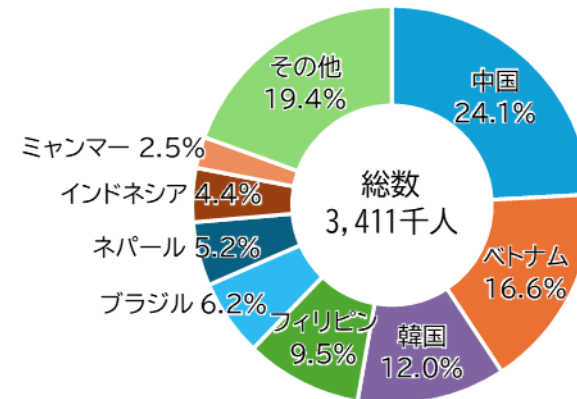
■国籍・地域別割合



国籍・地域	人数
ベトナム	6,038
フィリピン	4,667
中国	2,663
インドネシア	2,396
ネパール	889
韓国	795
ミャンマー	598
ブラジル	506
その他	2,357

資料：備後圏域各市町(2024年5月末)

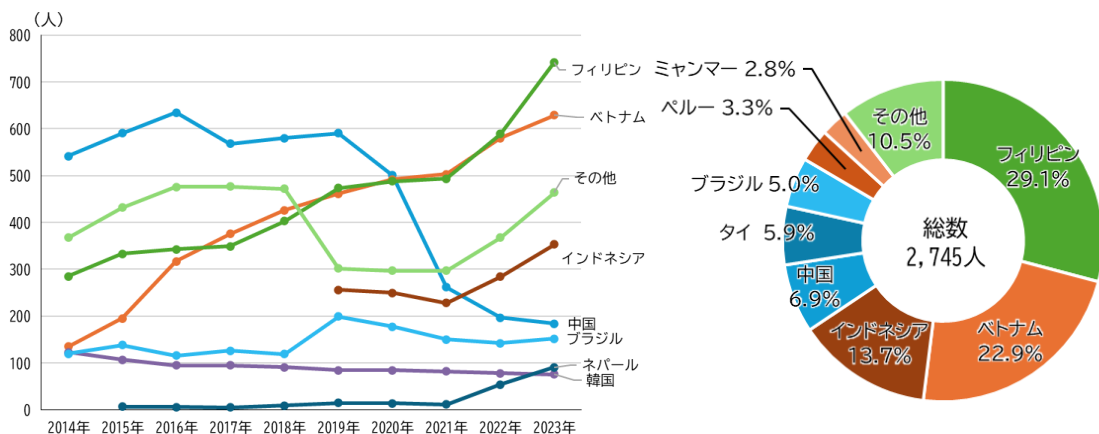
■【参考】(2023年)全国の国籍・地域別割合



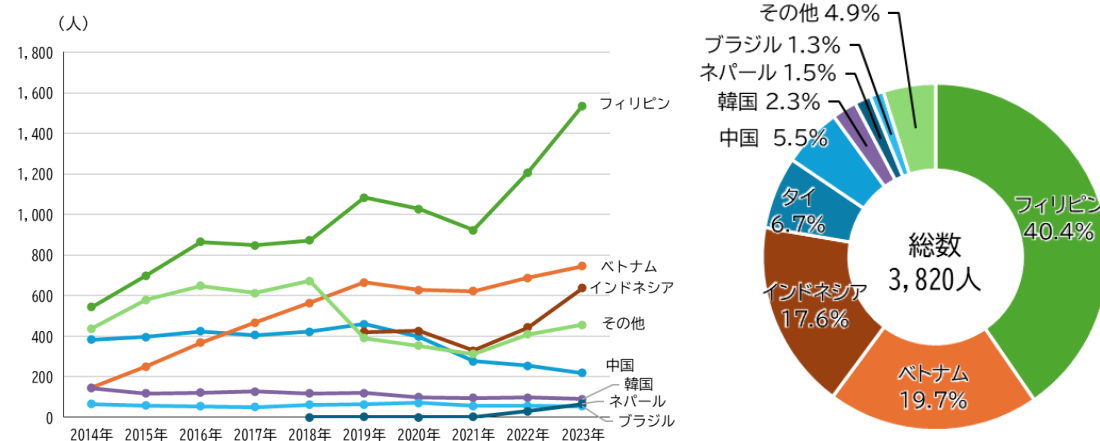
資料：法務省 在留外国人統計(2023年12月末)

各市町ごとの状況

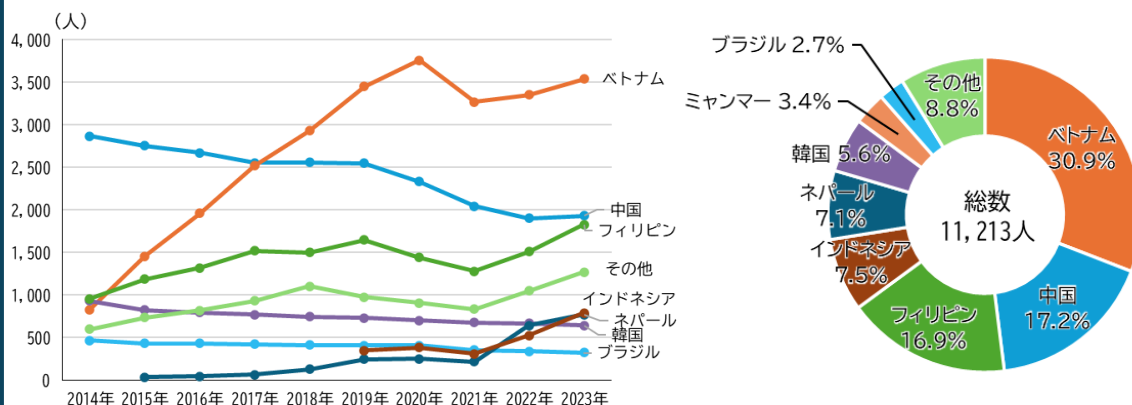
■三原市



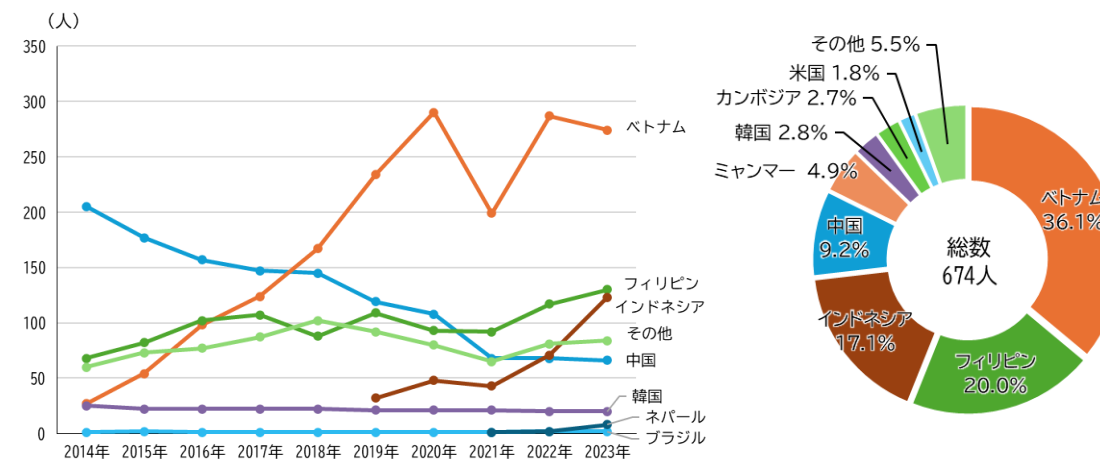
■尾道市



■福山市

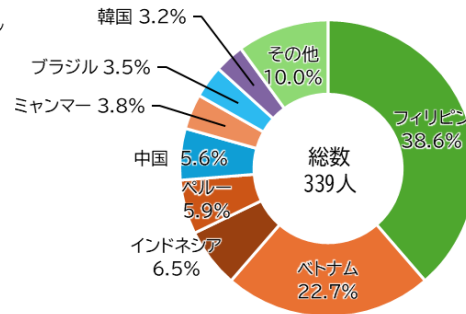
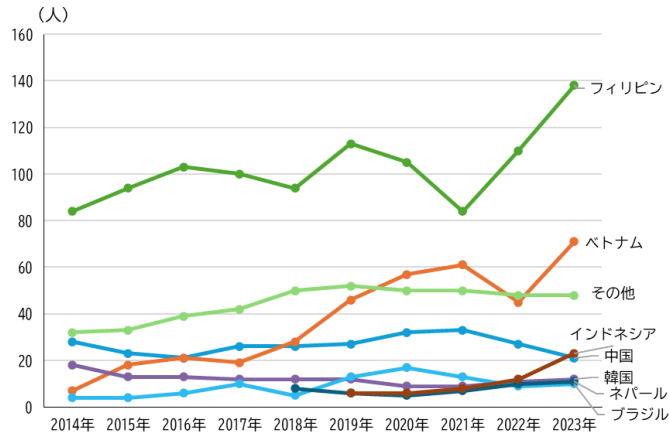


■府中市

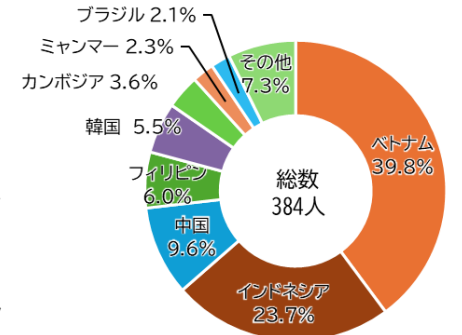
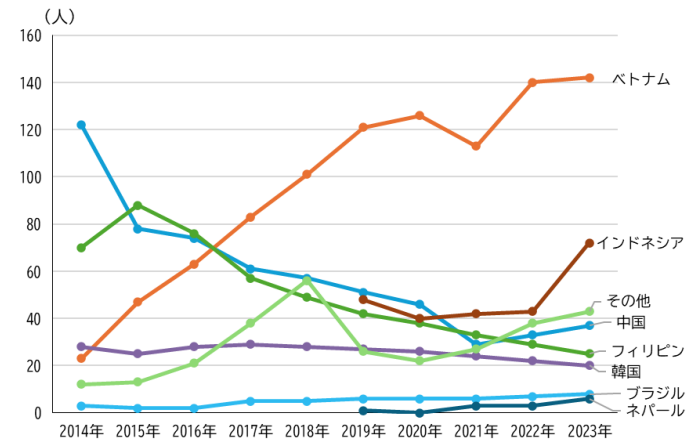


資料:法務省 在留外国人統計(各年12月末)、備後圏域各市町(2024年5月末)

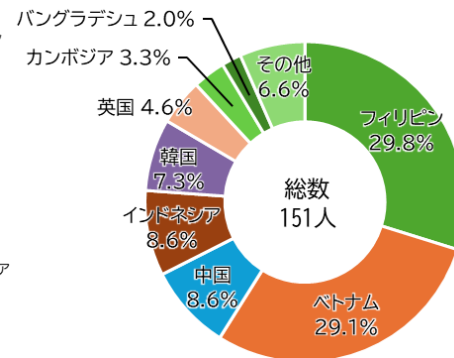
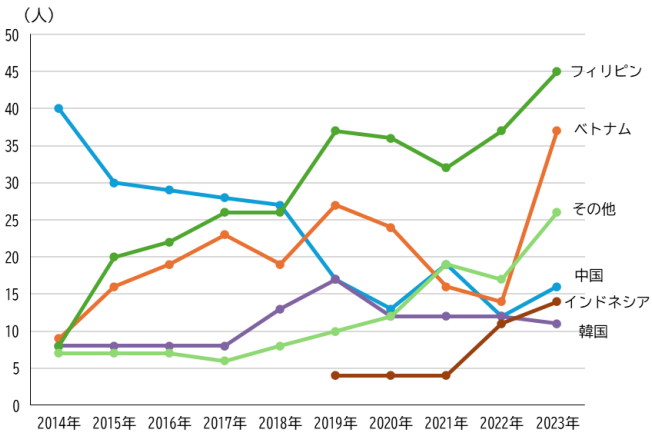
■竹原市



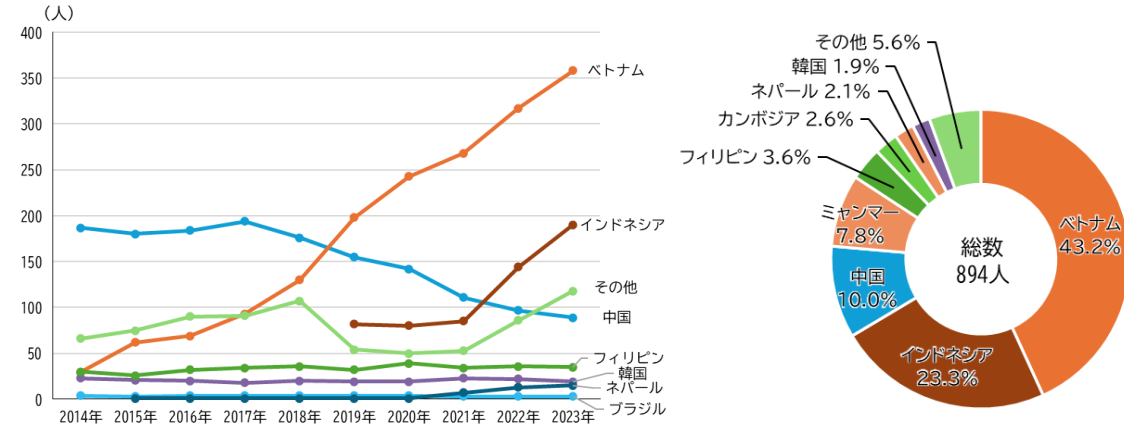
■世羅町



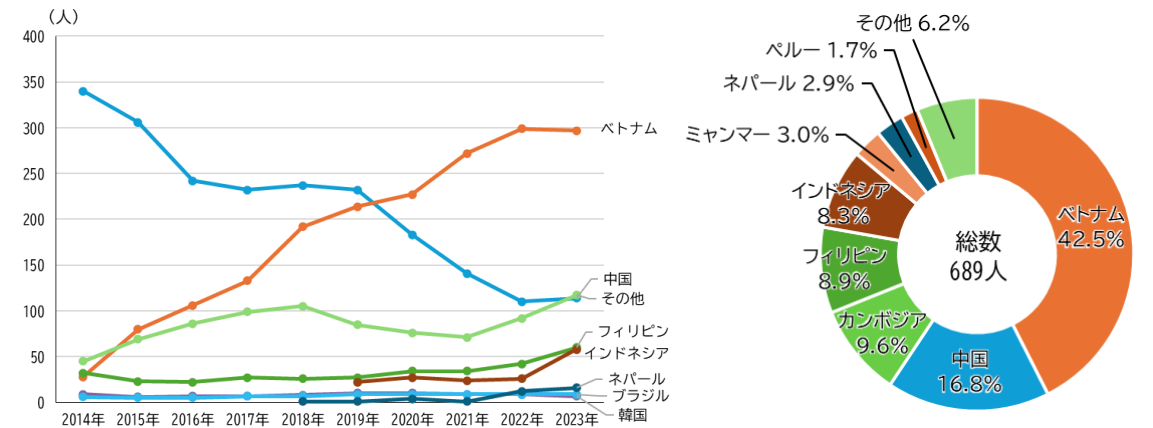
■神石高原町



■笠岡市



■井原市



資料：法務省 在留外国人統計（各年12月末）、備後圏域各市町（2024年5月末）

各市町において、ベトナム又はフィリピンが占める割合が高くなっています。また、インドネシアやネパールで増加傾向がみられる市町があるなど、東南アジアからの割合が高くなっています。

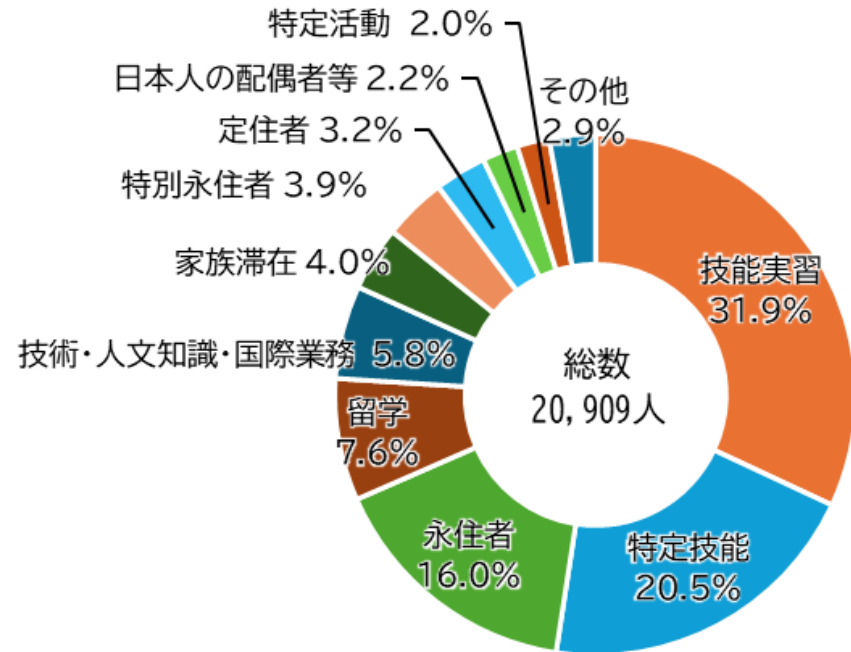
特徴的なところで、尾道市や竹原市では、フィリピンが約40%を占めており、世羅町や笠岡市では、インドネシアが23%以上となっています。

(3) 在留資格別の状況

備後圏域の外国人を在留資格別でみると、「技能実習」と「特定技能」で半数以上を占めています。次いで、「永住者」「留学」「技術・人文知識・国際業務」となっています。

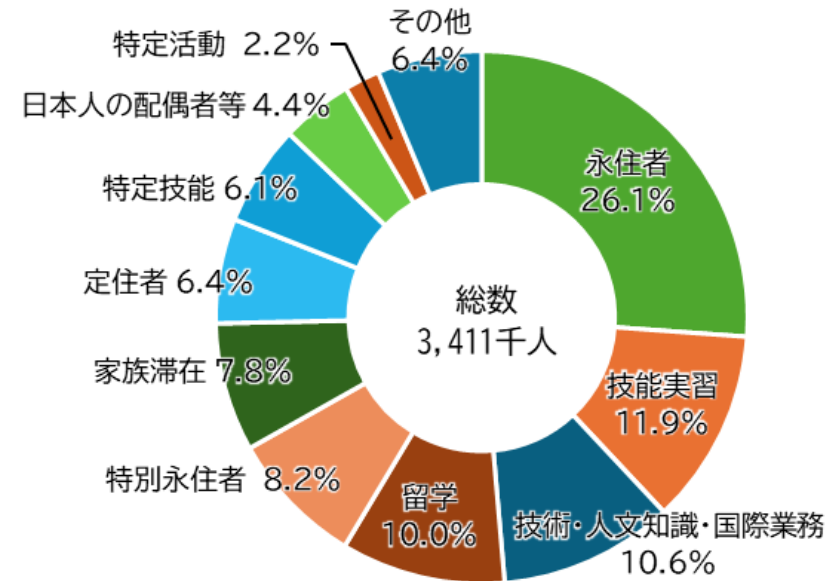
全国の在留資格別割合と比べると、「技能実習」や「特定技能」の割合が高くなっています。

■在留資格別割合



資料：備後圏域各市町(2024年5月末)

■【参考】(2023年)全国の在留資格別割合

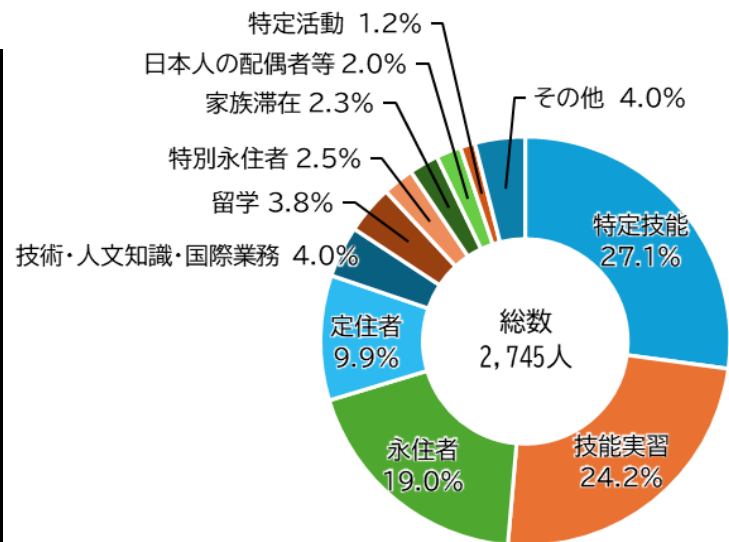


資料：法務省 在留外国人統計(2023年12月末)

各市町ごとの状況

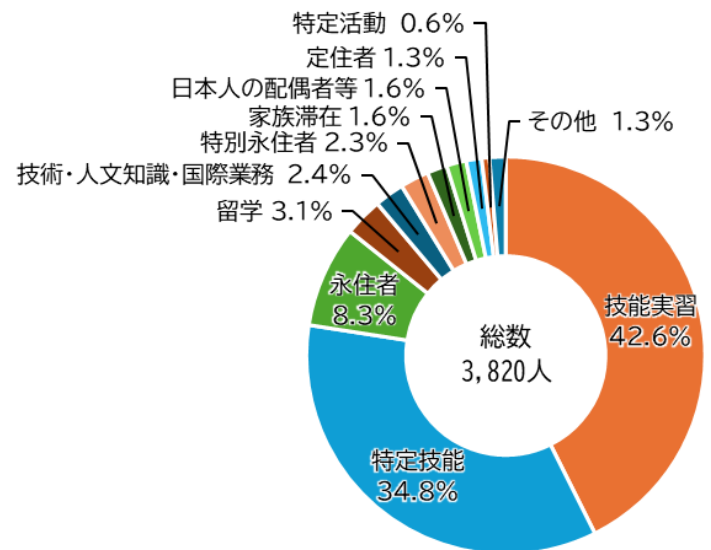
■三原市

	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
フィリピン	216	63	2	0	0	120	329	21	5	0	43	799
ベトナム	4	276	81	6	36	2	214	6	2	0	1	628
インドネシア	61	107	1	0	0	49	148	1	2	0	6	375
中国	67	35	7	3	11	3	44	4	0	0	16	190
ネパール	0	0	3	51	10	0	0	1	0	0	6	71
東南アジア	9	184	1	19	0	1	10	2	19	0	1	246
中南米	127	0	0	0	0	91	0	11	0	0	10	239
東アジア	15	0	8	2	0	0	0	1	0	68	1	95
南アジア	5	0	3	24	5	0	0	0	0	0	8	45
ヨーロッパ	9	0	1	0	1	4	0	4	4	0	3	26
北米	7	0	2	0	1	0	0	3	0	0	9	22
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
オセアニア	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
出生経過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
西アジア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総数	521	665	111	105	64	271	745	54	32	68	109	2,745



■尾道市

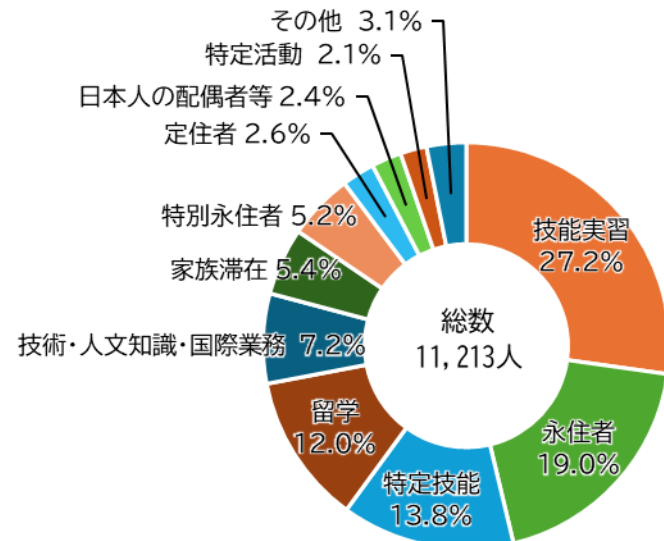
	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
フィリピン	112	726	10	0	4	15	644	13	7	0	12	1,543
ベトナム	10	409	38	17	25	1	235	9	8	0	2	754
インドネシア	19	326	10	15	5	6	283	2	4	0	2	672
中国	91	24	12	17	17	5	23	11	2	0	10	212
ネパール	0	0	3	46	3	0	0	0	0	0	6	58
東南アジア	9	133	5	7	0	1	144	3	1	0	0	303
東アジア	10	4	4	9	1	0	0	5	0	89	2	124
中南米	48	0	1	0	1	20	0	4	0	0	3	77
北米	9	0	0	0	0	0	0	8	0	0	7	24
南アジア	1	2	5	5	6	0	2	0	1	0	0	22
ヨーロッパ	4	0	3	3	0	0	0	4	1	0	3	18
アフリカ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5
中央アジア	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
オセアニア	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
西アジア	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
総数	316	1,628	92	119	62	48	1,331	61	24	89	50	3,820



※ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、ネパール以外は地域別に分類。

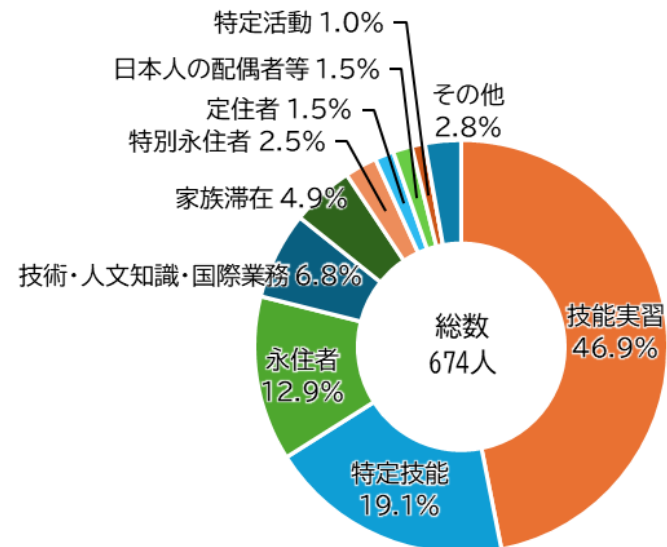
■福山市

	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
ベトナム	77	1,399	470	337	361	13	604	37	131	0	31	3,460
中国	1,094	187	122	151	95	57	40	64	15	5	95	1,925
フィリピン	378	595	9	23	17	137	540	65	26	0	108	1,898
インドネシア	40	441	17	4	26	3	265	13	20	0	14	843
ネパール	14	18	69	604	62	3	0	0	0	0	22	792
東アジア	91	1	34	3	2	1	2	24	0	582	11	751
東南アジア	28	381	28	55	4	2	89	12	36	0	2	637
中南米	331	0	1	1	1	61	0	17	1	0	11	424
南アジア	5	19	33	156	23	3	3	2	0	0	19	263
ヨーロッパ	34	0	7	6	1	11	0	16	4	0	12	91
北米	29	0	7	0	4	2	0	13	0	0	18	73
オセアニア	9	0	0	0	3	0	0	3	0	1	3	19
アフリカ	4	0	5	1	2	0	0	1	2	0	3	18
中央アジア	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
出生経過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
西アジア	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
総数	2,135	3,054	802	1,341	601	293	1,543	268	235	588	353	11,213



■府中市

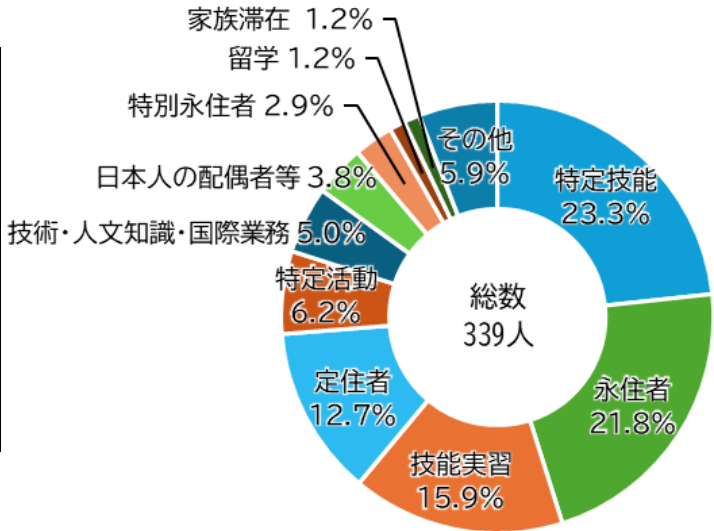
	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
ベトナム	2	147	27	0	29	0	33	3	2	0	0	243
フィリピン	38	67	0	0	0	5	21	3	0	0	1	135
インドネシア	3	50	3	0	1	0	58	0	0	0	0	115
中国	32	13	3	0	1	2	3	2	1	0	5	62
ネパール	0	3	6	0	2	0	0	0	0	0	0	11
東南アジア	2	32	3	0	0	0	13	0	4	0	0	54
東アジア	6	0	0	0	0	1	0	1	0	17	0	25
北米	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	12
南アジア	0	4	4	0	0	0	1	0	0	0	0	9
ヨーロッパ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
中南米	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
総数	87	316	46	0	33	10	129	10	7	17	19	674



※ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、ネパール以外は地域別に分類。

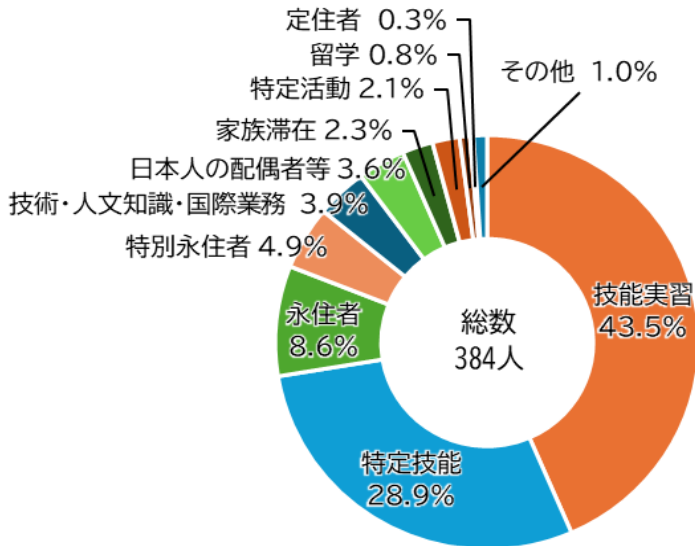
■竹原市

	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
フィリピン	51	15	0	0	0	17	25	6	11	0	6	131
ベトナム	4	19	6	1	0	0	41	1	4	0	1	77
インドネシア	0	7	0	0	0	0	11	0	4	0	0	22
中国	7	2	1	0	1	3	0	2	0	0	3	19
ネパール	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	5
中南米	8	0	0	0	0	23	0	1	0	0	1	33
東南アジア	2	11	2	3	0	0	2	0	0	0	0	20
東アジア	2	0	1	0	0	0	0	0	2	10	0	15
南アジア	0	0	4	0	1	0	0	1	0	0	3	9
北米	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	6
ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
総数	74	54	17	4	4	43	79	13	21	10	20	339



■世羅町

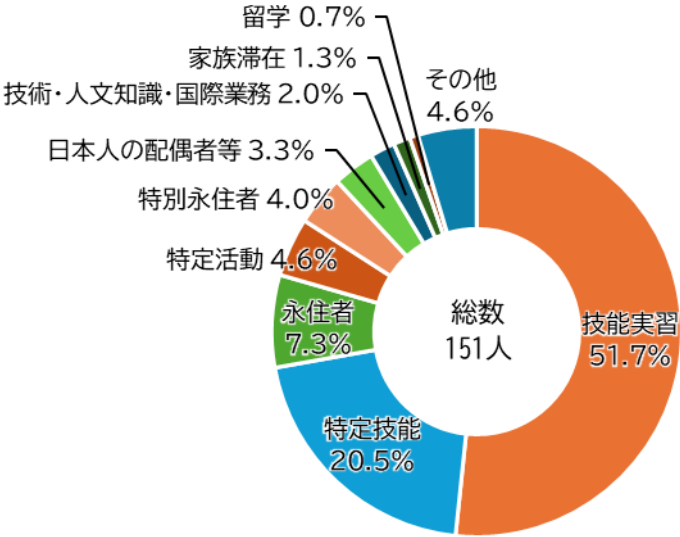
	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
ベトナム	0	74	8	0	3	0	62	1	2	0	0	150
インドネシア	1	57	2	0	0	0	32	0	0	0	0	92
中国	4	16	3	0	3	0	7	2	0	0	2	37
フィリピン	18	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	23
ネパール	0	3	1	0	3	0	0	0	0	0	0	7
東南アジア	0	12	0	0	0	0	8	3	6	0	0	29
東アジア	2	0	0	0	0	0	1	1	0	19	0	23
中南米	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	8
ヨーロッパ	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
南アジア	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
北米	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
アフリカ	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
総数	33	167	15	3	9	1	111	14	8	19	4	384



※ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、ネパール以外は地域別に分類。

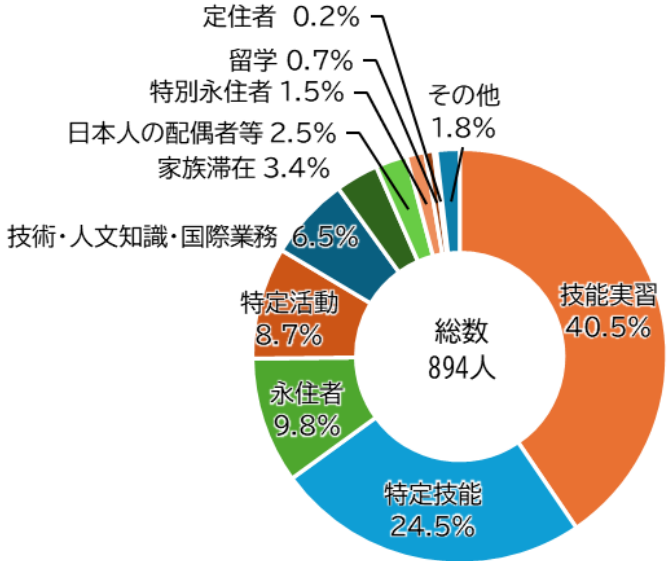
■神石高原町

	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
フィリピン	1	26	0	0	0	0	10	1	6	0	1	45
ベトナム	0	33	1	0	0	0	10	0	0	0	0	44
インドネシア	1	6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	13
中国	2	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13
東アジア	3	0	2	0	0	0	0	0	0	6	0	11
東南アジア	0	3	0	0	1	0	5	0	0	0	1	10
ヨーロッパ	1	0	0	1	1	0	0	2	1	0	2	8
南アジア	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
北米	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総数	11	78	3	1	2	0	31	5	7	6	7	151



■笠岡市

	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
ベトナム	1	189	43	6	9	0	117	4	16	0	1	386
インドネシア	3	79	1	0	3	0	58	0	62	0	2	208
中国	50	10	3	0	2	0	15	6	0	0	3	89
フィリピン	7	13	1	0	0	1	7	2	0	0	1	32
ネパール	1	0	7	0	7	0	1	0	0	0	3	19
東南アジア	7	64	3	0	5	0	21	1	0	0	1	102
東アジア	3	0	0	0	0	1	0	1	0	13	1	19
中南米	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9
北米	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	8
アフリカ	1	0	0	0	4	0	0	1	0	0	1	7
ヨーロッパ	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	6
中央アジア	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
南アジア	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
西アジア	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
総数	88	362	58	6	30	2	219	22	78	13	16	894

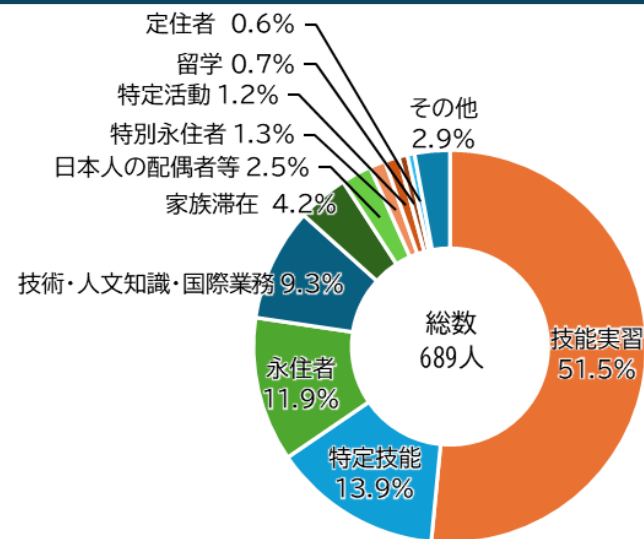


※ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、ネパール以外は地域別に分類。

■井原市

	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在	定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者	その他	合計
ベトナム	3	155	49	0	16	0	60	2	7	0	1	293
中国	31	64	5	1	2	2	5	5	0	0	1	116
フィリピン	19	16	0	0	0	2	15	5	0	0	4	61
インドネシア	3	36	2	0	2	0	11	1	0	0	2	57
ネパール	0	0	4	0	8	0	3	0	0	0	5	20
東南アジア	1	84	2	0	0	0	2	2	0	0	1	92
中南米	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23
東アジア	2	0	0	2	0	0	0	0	0	9	0	13
北米	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5	7
ヨーロッパ	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
アフリカ	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
南アジア	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
総数	82	355	64	5	29	4	96	17	8	9	20	689

※ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、ネパール以外は地域別に分類。



資料：備後圏域各市町（2024年5月末）

このプランにおける在留資格区分は、次のとおりとしています。

永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在
永住者	技能実習1号イ 技能実習1号ロ 技能実習2号イ 技能実習2号ロ 技能実習3号イ 技能実習3号ロ	技術・人文知識・国際業務	留学	家族滞在

定住者	特定技能	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者
定住者	特定技能1号 特定技能2号	日本人の配偶者等	特定活動	特別永住者

その他

高度専門職1号イ
高度専門職1号ロ
高度専門職1号ハ
高度専門職2号イ
高度専門職2号ロ
高度専門職2号ハ
高度専門職2号ニ

医療
介護
企業内転勤
教育
興行
永住者の配偶者等

研究
法律・会計業務
研修
文化活動
教授
芸術

宗教
報道
技能
経営・管理
出生経過

各市町において、東南アジアからの「技能実習」や「特定技能」が多くなっています。

特徴的なところで、福山市では中国の「永住者」が多いことや、「留学生」が1,300人を超えています。

三原市及び竹原市では、「特定技能」が占める割合が高くなっていることに加え、フィリピンの「永住者」も、他市町に比べ、高くなっています。

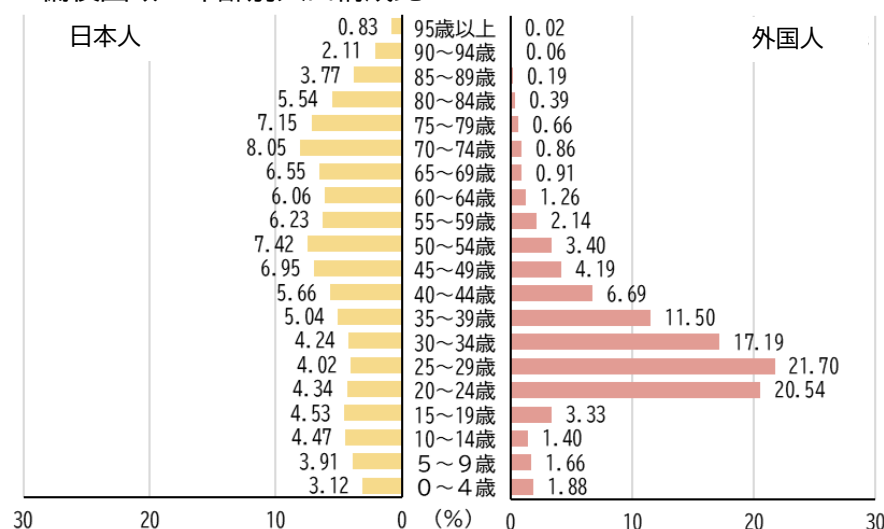
(4) 年齢別構成

備後圏域の日本人と外国人のそれぞれの年齢別構成比をみると、日本人は各年齢に分散し、65歳以上が合計で約34%となっているのに対し、外国人は20歳代が約42%、次いで30歳代が約29%と高くなっており、20～30歳代で外国人のおよそ70%を占めています。

各市町においても、20～30歳代の割合が高くなっています。

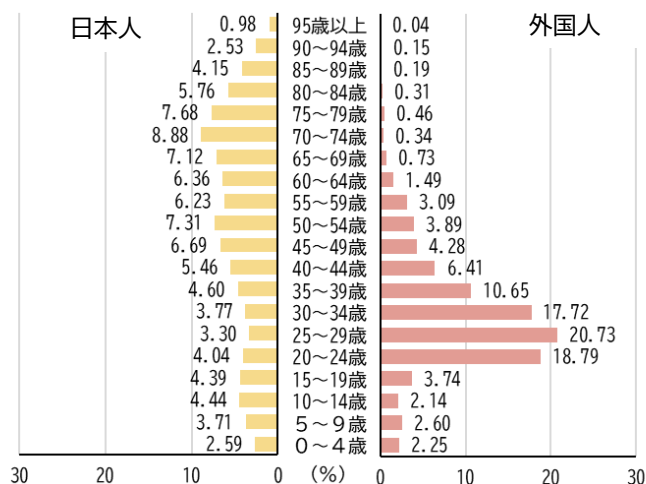
特徴的なところで、府中市では0～4歳代が約2.89%、竹原市では65歳以上が4.37%と、他市町と比べて高くなっています。

■備後圏域の年齢別人口構成比

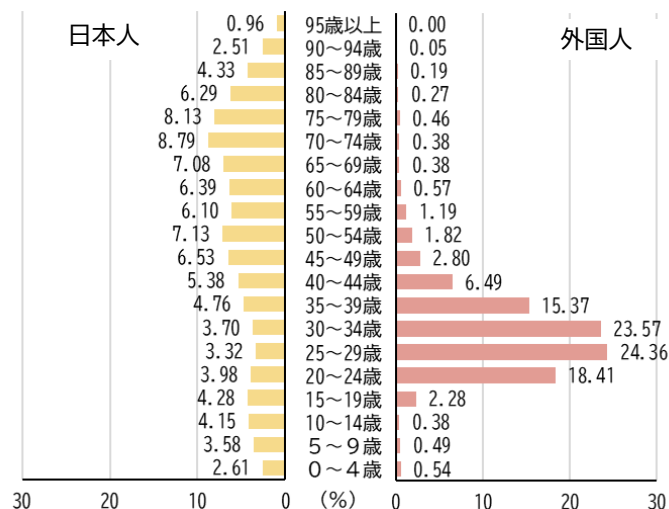


各市町ごとの状況

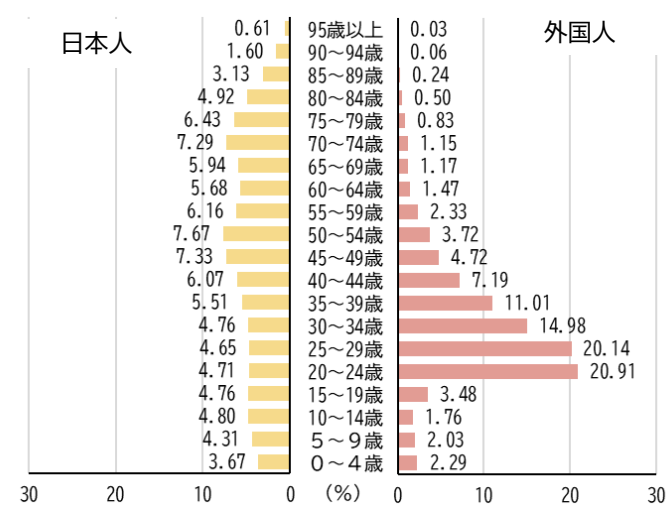
■三原市



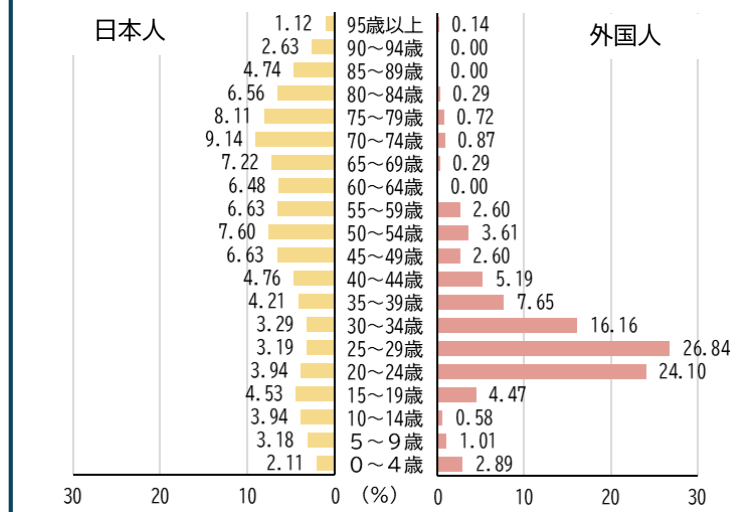
■尾道市



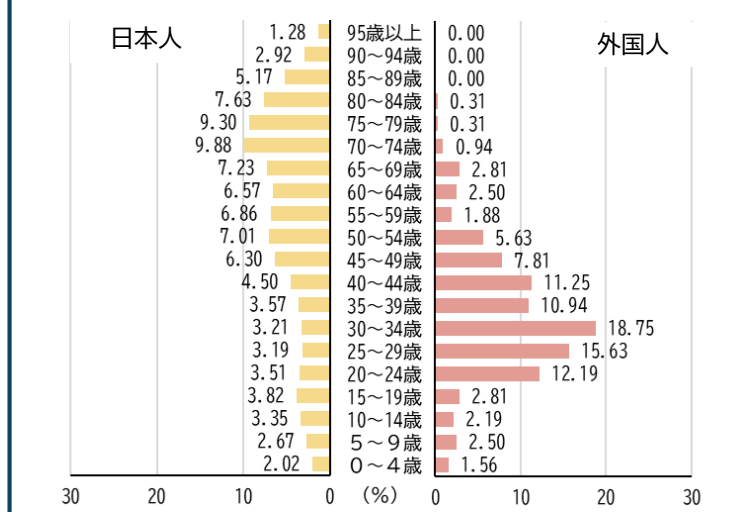
■福山市



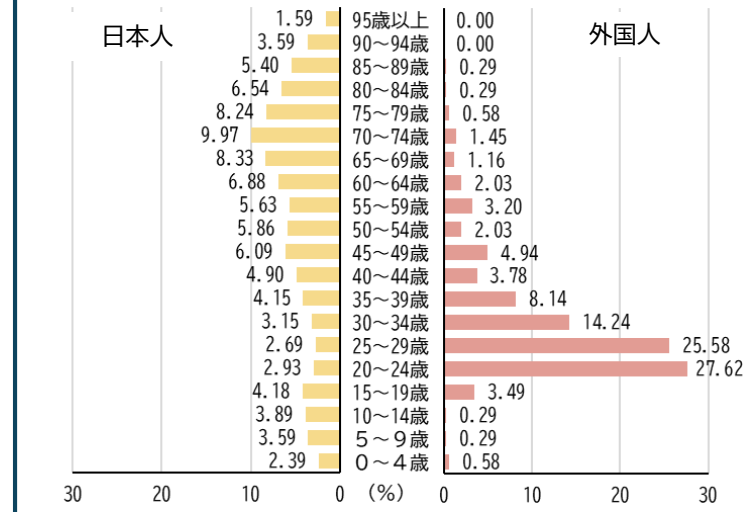
■府中市



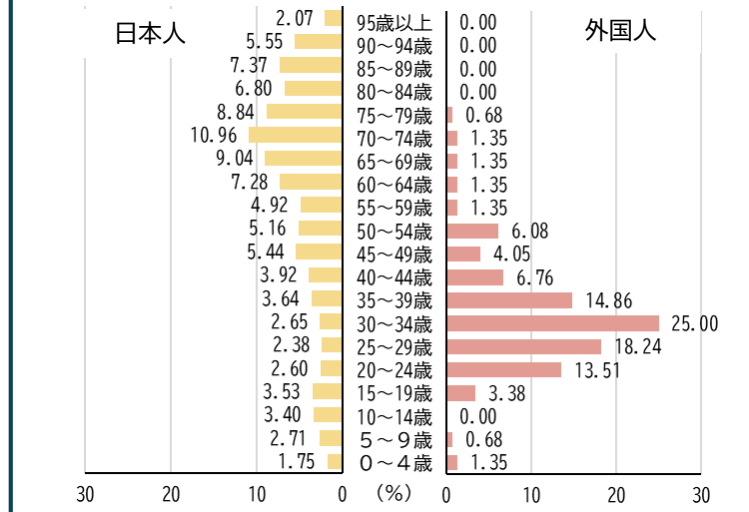
■竹原市



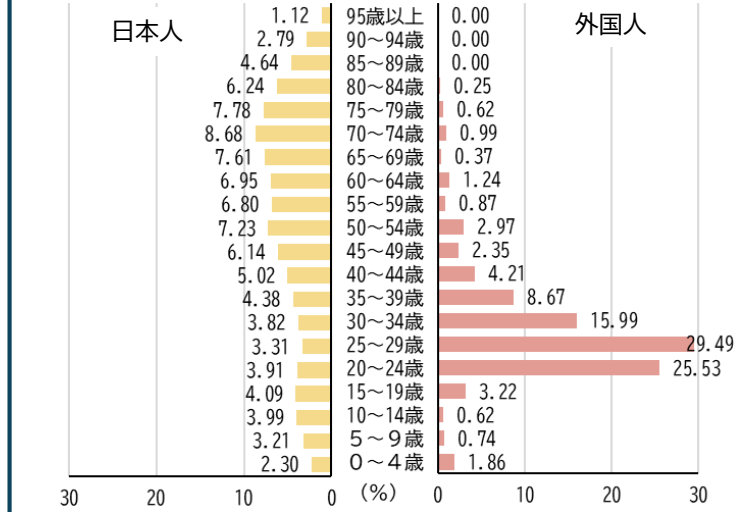
■世羅町



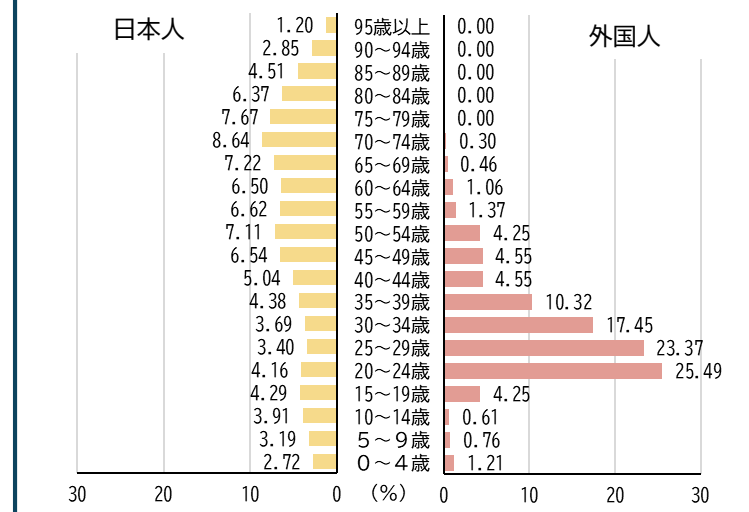
■神石高原町



■笠岡市



■井原市





第3章

基本的な考え方と施策体系

1

基本理念

多文化共生のまちづくりに向けためざす姿として、基本理念を定めます。

互いを認め合い 多様性を活力に みんなで創る 多文化共生のまち

近年では、外国人住民が年々増加し、ベトナムをはじめとした東南アジア諸国出身者の増加など、多国籍化が進んでいます。こうした中、誰もが安心安全に暮らすことができる社会の実現のためには、互いの生活習慣や文化、価値観の違いを認め合い、尊重し合うことが重要です。

また、外国人住民も共に地域をつくる一員として、誰もが能力を発揮し、活躍できるまちづくりに取り組む必要があります。

全ての住民の人権が尊重され、共に暮らす住民としてお互いを理解し、多様性を生かしながら、誰もが参画できる社会の実現に向けて、住みたいまちとして選ばれ、住み続けたいと思える多文化共生のまちをめざします。

2

基本方針と施策体系

基本理念を達成するために必要な3つの基本方針と、基本方針の実現に向けた施策体系を示します。

基本理念

互いを認め合い
多様性を活力に
みんなで創る
多文化共生のまち

基本方針

1 コミュニケーションを通じて
つながり合うまちづくり

2 誰もが安心安全に暮らし
続けることができるまちづくり

3 誰もが活躍できるまちづくり

施策体系

- 1 日本語学習機会の充実
- 2 外国人住民に伝わるコミュニケーション手段の普及
- 3 相互理解の促進と多文化共生の機運醸成
- 1 行政情報等の多言語化の推進
- 2 生活相談体制の充実
- 3 オリエンテーションとアウトリーチによる支援
- 4 こどもの教育機会の確保
- 5 子育て・保健・福祉・医療・介護等に関する支援
- 6 防災、交通安全・防犯の推進
- 7 住まいの確保と就労環境の整備
- 1 外国人材の受入れ支援
- 2 定着促進とキャリア形成支援
- 3 地域社会への参画と協働
- 4 海外都市等との国際交流

3 基本方針と施策の方向性

基本理念を実現するため、3つの基本方針を定め、めざす姿を明確にして施策を推進します。

基本方針1 コミュニケーションを通じてつながり合うまちづくり

外国人住民と地域住民が共に生活していくため、円滑なコミュニケーションを促進するとともに、交流を深めることで、お互いを理解し尊重し合えるまちづくりを推進します。

現状

- ・ 日本語を学ぶ目的が、生活のためや仕事のためなど、多様化している
- ・ 日本語が理解できず、生活に必要な情報を入手できなくて困っている外国人住民がいる
- ・ 日本語を勉強したい外国人住民が多くいる
- ・ 地域住民に「やさしい日本語」が認知されていない
- ・ 外国人住民のなかには、地域住民と仲良くなりたいと思っている人が多くいる
- ・ 外国人住民が増えることについて、文化や言葉、生活習慣等の違いから不安を感じる地域住民がいる

めざす姿

- ・ 日本語学習を希望する人に、希望に沿った日本語学習の機会がある
- ・ 生活に必要な日本語能力が身に付いている
- ・ 「やさしい日本語」が多くの地域住民に認知され、外国人住民とのコミュニケーションに活用されている
- ・ 外国人住民と地域住民や、外国人住民同士のコミュニケーションの機会が増えている
- ・ 多文化共生の理解を深める交流の場が身近にある

● 施策の方向性

施策体系	施策の方向性
1-1 日本語学習機会の充実	外国人住民が、生活に必要な日本語能力を身に付け、地域社会において、コミュニケーションを図り、円滑な生活が送れるよう、日本語学習機会の充実を図ります。
1-2 外国人住民に伝わるコミュニケーション手段の普及	外国人住民にも大切な情報が伝わり、円滑なコミュニケーションが図れるよう、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組みます。 また、翻訳アプリ等のICTを活用したコミュニケーションを推進します。
1-3 相互理解の促進と多文化共生の機運醸成	全ての人の人権を尊重し、相互理解を深め、多文化共生のまちづくりに向けた機運の醸成を図ります。

コラム

「やさしい日本語」ってなに？

やさしい日本語とは…

難しい言葉を言い換えたり、ルビを振るなど、伝える相手に配慮したわかりやすい日本語

やさしい日本語は、1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人住民にも迅速に災害などの情報伝達を行う手段として広まりました。

外国人住民だけでなく、こどもや高齢者、障がいのある人々に対しても、伝わりやすい言葉です。

あなたも、やさしい日本語を意識して使ってみましょう。

在留支援のための
やさしい日本語ガイドライン
(出入国在留管理庁ホームページ)



基本方針2 誰もが安心安全に暮らし続けることができるまちづくり

外国人住民が、様々なライフステージとその移行期で困ることがないように、相談・支援体制を充実させ、日本人と同様のサービスが受けられる環境をめざします。

現状

- 行政情報が外国人住民に届いていない
- 相談窓口があることを知らない外国人住民が多い
- 外国人住民にとって、日本の文化や生活習慣を理解することが難しい
- 外国にルーツを持つこどもが増加している
- 災害時に、どう行動したらよいか分からない外国人住民が多い
- 外国人住民の住宅確保が困難な状況がある

めざす姿

- 母語等の理解できる言語で行政情報が入手できる
- 困った時に相談できる窓口を知っており、自ら相談することができる
- 日本語指導が必要な全てのこどもが必要な指導を受けることができるなど、安心して学べる環境が整っている
- 外国人住民が安心して必要な行政サービス（子育て・保健・福祉・医療・介護等）を受けることができる
- 外国人住民が災害や防災に対する事前の備えができ、災害時には災害情報を入手し、適切な避難行動をとることができる
- 安心安全に暮らせる住居と就労環境が整っている

●施策の方向性

施策体系	施策の方向性
2-1 行政情報等の多言語化の推進	外国人住民が必要な行政サービス等についての情報を受けられるよう、多言語での情報発信を推進します。
2-2 生活相談体制の充実	外国人住民が相談できる体制の充実と、その周知を図ります。
2-3 オリエンテーションとアウトリーチ※による支援	様々なライフステージとその移行期における体系的・計画的な支援を推進します。
2-4 こどもの教育機会の確保	外国にルーツを持つこどもの増加や多様化に対応し、全てのこどもが安心して学べる環境づくりを推進します。
2-5 子育て・保健・福祉・医療・介護等に関する支援	外国人住民が安心して生活をするために必要な行政サービス（子育て・保健・福祉・医療・介護等の各分野）を受けられるよう、多言語化等への取組の充実を図ります。
2-6 防災、交通安全・防犯の推進	外国人住民が、災害の備えを行うことができ、災害時に適切な避難行動ができるよう、支援します。 交通安全・防犯についての啓発を推進します。
2-7 住まいの確保と就労環境の整備	適正な居住環境の確保と、就労環境の整備を推進します。

※必要な人に必要なサービスや情報が届くよう、積極的に支援すること。

基本方針3 誰もが活躍できるまちづくり

地域の維持・活性化に向け、新たな外国人材の受入れや、外国人住民の備後圏域内での定着を支援するとともに、外国人住民との連携・協働を通じて、誰もが活躍できるまちづくりを推進します。

現状

- ・ 日本国内に就職する留学生の約半数が備後圏域外の企業や団体に就職している
- ・ 外国人材の受入れに興味はあるが、その方法が分からない企業や団体がある
- ・ 地域住民と仲良くなりたい外国人住民や、自分と異なる文化等を学びたい地域住民が多い
- ・ 地域の行事に参加している外国人住民が少ない

めざす姿

- ・ 留学生が備後圏域内に就職を希望し、就職した企業や団体に活躍している
- ・ 外国人材の受入れを希望する企業や団体が外国人材を雇用できている
- ・ 外国人住民と地域住民が共に地域の一員として地域行事等に参画し、地域の活性化につながっている
- ・ 外国人材が備後圏域を選び定着し、住み続けている

● 施策の方向性

施策体系	施策の方向性
3-1 外国人材の受入れ支援	外国人材を雇用している又は雇用を希望している企業や団体が、適正かつ円滑な外国人材の受入れができるよう、支援します。
3-2 定着促進と キャリア形成支援	職場体験などにより、留学生の備後圏域内の企業や団体への就職を促進します。キャリアアップができるよう、日本語の学習支援を産学官で連携して推進します。
3-3 地域社会への参画と 協働	地域の維持・活性化に向けて、外国人住民との連携・協働を推進します。
3-4 海外都市等との 国際交流	親善友好都市をはじめとする海外都市との交流を推進し、経済、文化、教育など様々な分野において市民レベルでの交流を推進します。



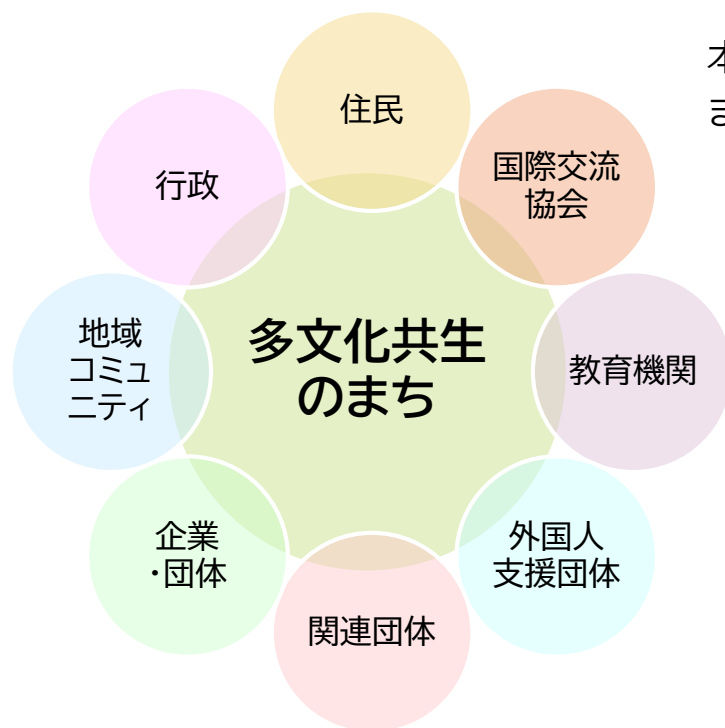
第4章

ビジョンの推進

1 多様な主体との連携

備後圏域において多文化共生を推進するためには、住民や関係団体、地域コミュニティ、大学等の学術研究・教育機関、事業者、行政等がそれぞれの役割を担うとともに、それぞれが連携し合い、一体となって取組を進めていく必要があります。

2 推進体制



本ビジョンに基づき、備後圏域が一体となり、多文化共生のまちづくりを推進します。また、情報交換を行うなど、連携を図る中で、効率的かつ効果的な施策展開に努めます。



資料編

各種調査からみる状況



(1) 外国人生活環境調査

- 期間 2024年（令和6年）8月1日～9月25日
- 対象者 備後圏域に住む外国人
（広島県内に住む外国人からの回答のうち、三原市、尾道市、福山市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町の人の回答のみ、上記期間で抽出。笠岡市、井原市については独自で調査。）
- 回答方法 インターネット（Google Formによる回答）
- 調査票言語 やさしい日本語、英語、韓国語、スペイン語、中国語（簡体字、繁体字）、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語、ミャンマー語、タイ語
- 実施主体 広島県地域政策局国際課、笠岡市、井原市
- 回答状況等 1,281件

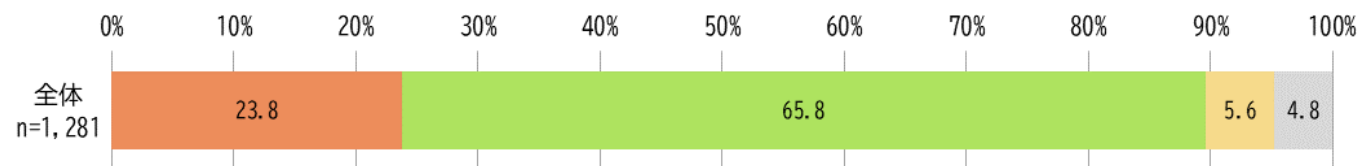
在留資格	回答者数（人）
技能実習	387
特定技能	197
留学	134
永住、永住者の配偶者	148
技能・人文知識・国際業務	84
その他（無回答含む）	331

国籍	回答者数（人）
ベトナム	286
中国	96
フィリピン	272
インドネシア	252
ネパール	74
その他（無回答含む）	301

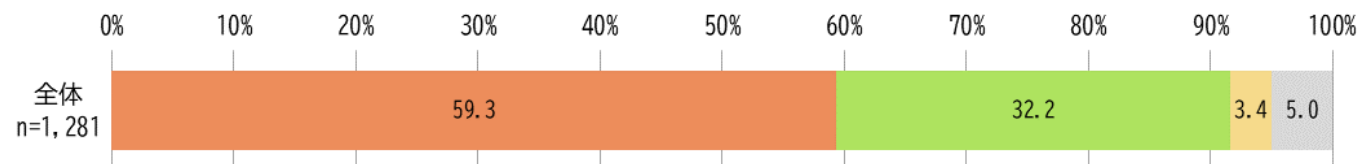
日本語習熟度について

日本語習熟度を、以下の3問について次のとおり分類したものです。

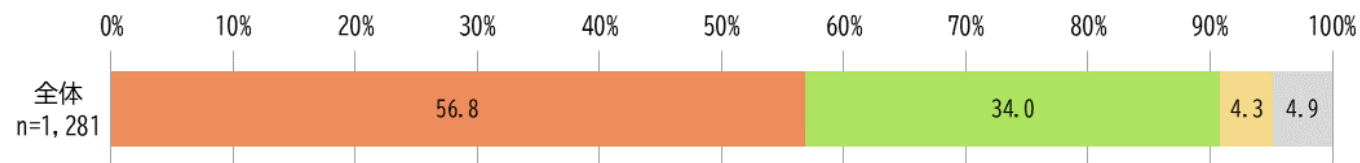
■ 問1 日本語で会話する



■ 問2 ひらがな・カタカナを読む



■ 問3 ひらがな・カタカナを書く



■ できる ■ 少しできる ■ ほとんどできない ■ 無回答

● 日本語習熟度別

設問	「できる」	「できない」
①日本語で会話する	「1 できる」と回答	「2 少しできる」、「3 ほとんどできない」と回答
②ひらがな・カタカナを読む	「1 できる」と回答	「2 少しできる」、「3 ほとんどできない」と回答
③ひらがな・カタカナで書く	「1 できる」と回答	「2 少しできる」、「3 ほとんどできない」と回答



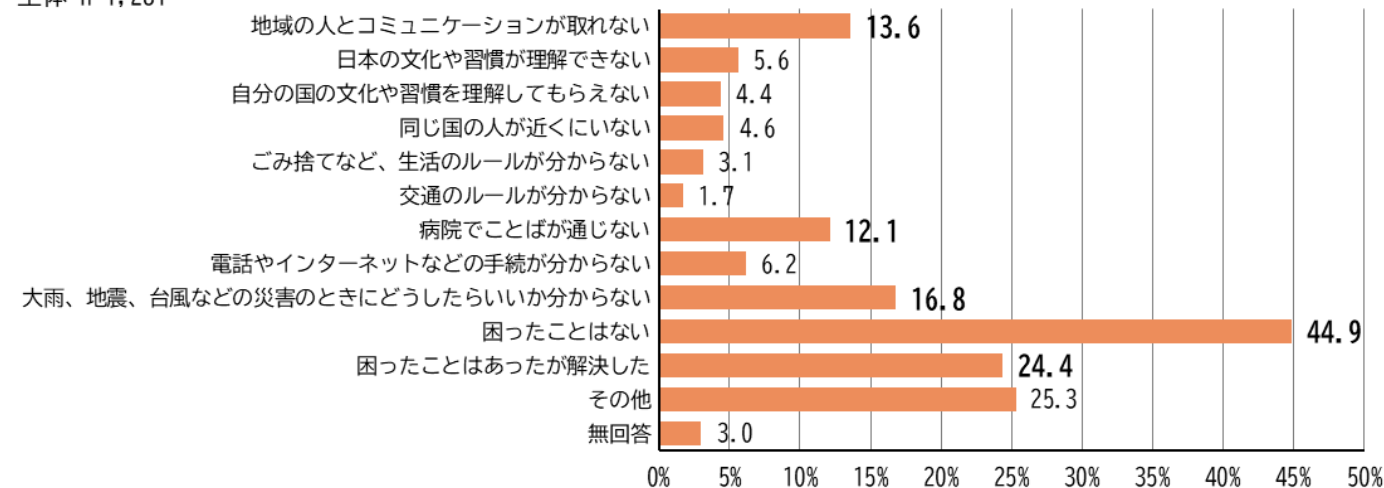
日本語の習熟度	「できる」の数
①習熟度【高】	「できる」が3個
②習熟度【中】	「できる」が2個
③習熟度【低】	「できる」が1個以下

【生活での困りごとについて】

① 最近6か月で、生活で困ったことがありましたか？（複数回答）

- 「困ったことはない」が44.9%で最も高くなっています。次いで、「困ったことはあったが解決した」が24.4%となっています。
- 困りごとの選択肢では「大雨、地震、台風などの災害のときにどうしたらいいか分からない」が16.8%で最も高く、「地域の人とコミュニケーションが取れない」が13.6%、「病院でことばが通じない」が12.1%が続いています。
- 日本語習熟度別でみると、習熟度【高】は「困ったことはない」が高くなっており、習熟度【低】は、習熟度【高】【中】に比べて、「病院でことばが通じない」が高くなっています。

全体 n=1,281



■日本語習熟度別

	習熟度【高】 n=290	習熟度【中】 n=431	習熟度【低】 n=503
地域の人とコミュニケーションが取れない	4.1	16.9	16.3
日本の文化や習慣が理解できない	2.4	6.7	7.0
自分の国の文化や習慣を理解してもらえない	3.4	5.8	4.4
同じ国の人が近くにいない	5.5	4.2	4.8
ごみ捨てなど、生活のルールが分からない	2.4	3.0	3.8
交通のルールが分からない	0.7	1.6	2.6
病院でことばが通じない	5.2	12.1	16.1
電話やインターネットなどの手続きが分からない	4.5	8.6	6.0
大雨、地震、台風などの災害のときに どうしたらいいか分からない	13.1	20.6	16.9
困ったことはない	53.1	42.5	41.9
困ったことはあったが解決した	19.7	23.9	28.8
その他	21.4	27.4	27.8
無回答	3.1	2.3	3.4

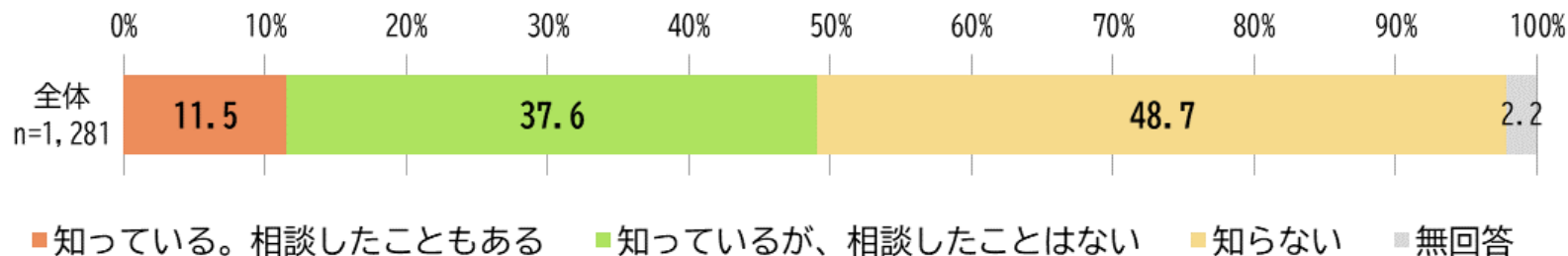
その他の意見（抜粋）

- ・こどもが16歳になる今年、日本の高校に進学できなくなり、勉強を続けることができなくなるのは残念です。
- ・住んでいる場所の近くにはモスクがありません。

【生活での困りごとについて】

②- 1 市役所などに公的な相談窓口があることを知っていますか？

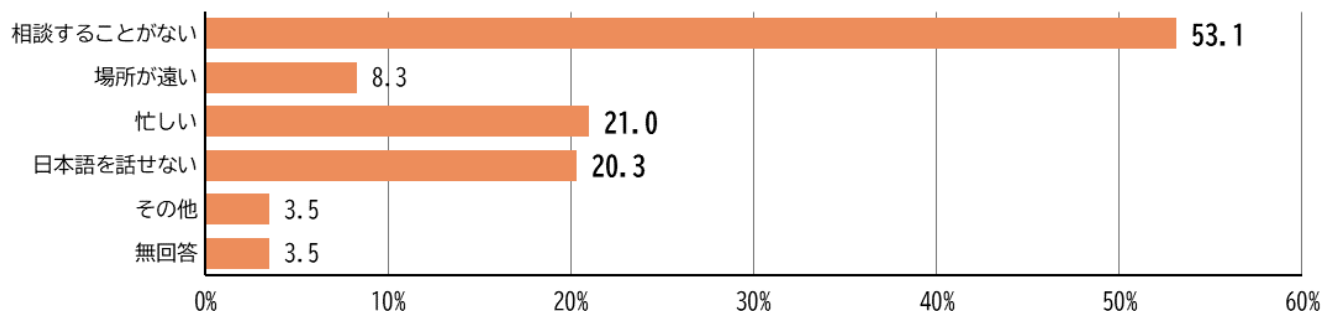
- 「知らない」が48.7%で最も高く、次いで「知っているが、相談したことはない」が37.6%、「知っている。相談したこともある」が11.5%で続いています。



②- 2 相談したことがない理由を教えてください。（複数回答）

- 「相談することがない」が53.1%で最も高くなっています。次いで、「忙しい」が21.0%、「日本語を話せない」が20.3%となっています。
- 日本語習熟度別でみると、習熟度【高】は「相談することがない」が高くなっていますが、習熟度【低】では「日本語を話せない」が、習熟度【高】【中】と比べて、高くなっています。

全体 n=482



■日本語習熟度別

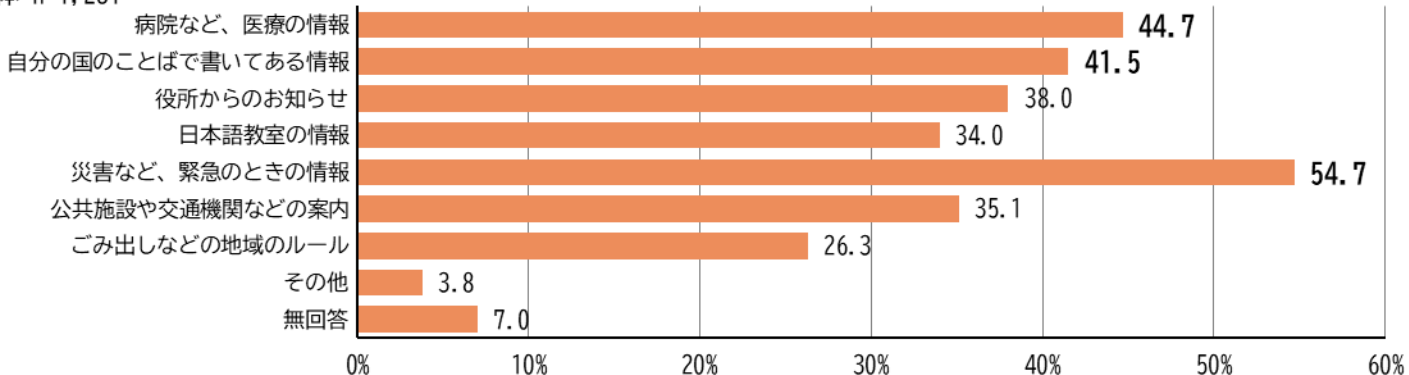
	習熟度【高】 n=123	習熟度【中】 n=122	習熟度【低】 n=218
相談することがない	62.6	52.5	48.6
場所が遠い	8.1	8.2	9.2
忙しい	23.6	26.2	17.0
日本語を話せない	3.3	22.1	28.0
その他	4.1	4.1	2.8
無回答	5.7	0.8	4.1

【生活での困りごとについて】

③ 生活する上で、どんな情報が欲しいですか？（複数回答）

- 「災害など、緊急のときの情報」が54.7%で最も高くなっています。次いで「病院など、医療の情報」が44.7%、「自分の国のことばで書いてある情報」が41.5%が続いています。
- 在留資格別でみると、「特定技能」で「災害など、緊急のときの情報」が64.5%と高く、「家族滞在」で「自分の国のことばで書いてある情報」が67.9%と比較的高くなっています。

全体 n=1,281



その他の意見（抜粋）

- ・コミュニティコーナー
- ・仕事のこと
- ・外国人や地域の日本人が参加するイベント・活動の情報

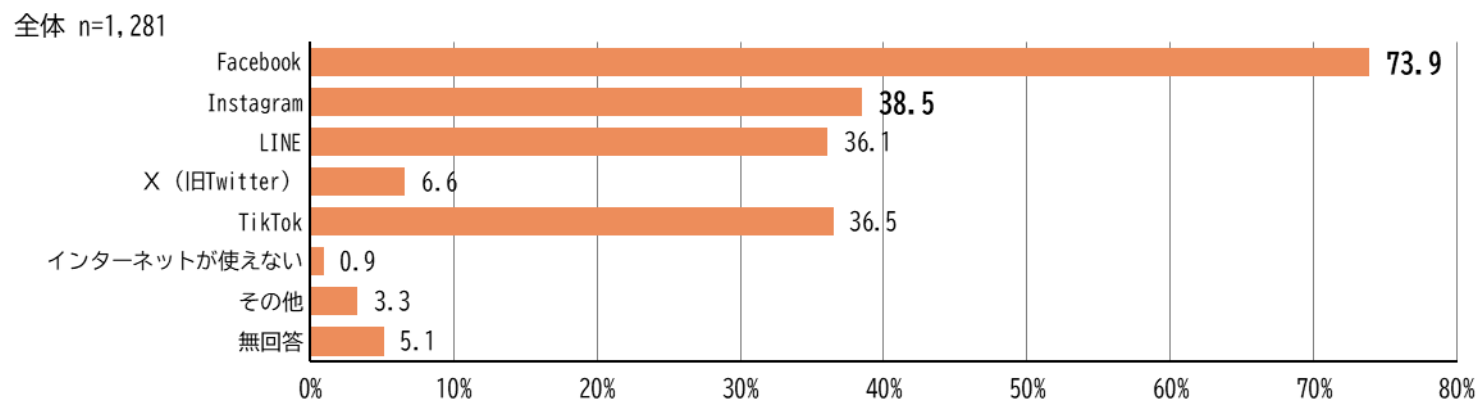
■ 在留資格別

	技能実習 n=387	特定技能 n=197	留学 n=134	永住者、 永住者の 配偶者 n=148	定住者 n=32	日本人の 配偶者等 n=66	家族滞在 n=28	技術 ・人文知識 ・国際業務 n=84	特定活動 n=25	その他 n=105
病院など、医療の情報	39.0	48.2	50.0	48.6	65.6	53.0	42.9	47.6	68.0	49.5
自分の国のことばで書いてある情報	43.7	49.2	44.8	35.1	40.6	39.4	67.9	40.5	44.0	38.1
役所からのお知らせ	35.9	34.5	44.0	36.5	50.0	43.9	28.6	54.8	32.0	49.5
日本語教室の情報	35.4	30.5	40.3	29.7	40.6	28.8	53.6	41.7	48.0	36.2
災害など、緊急のときの情報	56.1	64.5	53.0	48.0	62.5	56.1	53.6	63.1	48.0	65.7
公共施設や交通機関などの案内	32.3	44.2	38.8	27.0	37.5	36.4	42.9	45.2	60.0	35.2
ごみ出しなどの地域のルール	25.8	32.0	24.6	19.6	25.0	19.7	39.3	31.0	28.0	36.2
その他	2.3	2.0	3.7	12.2	12.5	3.0	-	6.0	-	1.9
無回答	1.3	2.5	2.2	8.1	3.1	4.5	7.1	2.4	4.0	1.9

【情報収集について】

④ よくみるSNSを選んでください。（複数回答）

- 「Facebook」が73.9%で最も高くなっています。次いで、「Instagram」が38.5%となっています。
- 在留資格別でみると、いずれの在留資格においても、「Facebook」は半数以上を占めています。



■ 在留資格別

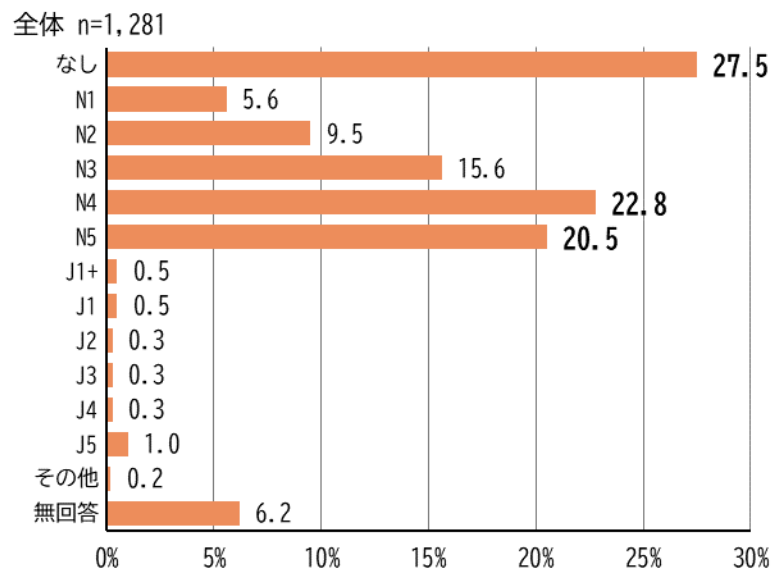
	技能実習 n=387	特定技能 n=197	留学 n=134	永住者、 永住者の 配偶者 n=148	定住者 n=32	日本人の 配偶者等 n=66	家族滞在 n=28	技術 ・人文知識 ・国際業務 n=84	特定活動 n=25	その他 n=105
Facebook	85.8	77.2	84.3	61.5	65.6	62.1	71.4	73.8	56.0	79.0
Instagram	35.1	50.3	44.8	29.7	62.5	33.3	35.7	39.3	72.0	41.0
LINE	21.7	39.6	30.6	62.8	37.5	63.6	50.0	51.2	44.0	33.3
X(旧Twitter)	2.8	8.6	6.0	11.5	15.6	3.0	3.6	7.1	20.0	9.5
TikTok	45.5	40.6	41.0	26.4	31.3	22.7	39.3	38.1	40.0	30.5
インターネットが使えない	-	0.5	1.5	1.4	3.1	3.0	-	2.4	-	-
その他	1.6	2.5	0.7	8.8	9.4	4.5	-	2.4	-	8.6
無回答	0.8	-	2.2	2.7	-	3.0	-	2.4	4.0	1.0

【日本語について】

⑤ あなたは日本語の資格を持っていますか？（複数回答）

- 「なし」が27.5%で最も高くなっています。次いで「N4」が22.8%、「N5」が20.5%が続いています。
- 在留資格別では、「技能実習」「特定技能」「留学」などで資格を持っている人が多くなっています。

■在留資格別



	技能実習 n=387	特定技能 n=197	留学 n=134	永住者、 永住者の 配偶者 n=148	定住者 n=32	日本人の 配偶者等 n=66	家族滞在 n=28	技術 ・人文知識 ・国際業務 n=84	特定活動 n=25	その他 n=105
なし	23.0	16.2	16.4	55.4	43.8	48.5	46.4	16.7	28.0	37.1
N1	1.0	3.0	3.0	16.2	3.1	7.6	3.6	10.7	4.0	14.3
N2	4.7	8.6	9.0	10.1	6.3	9.1	3.6	32.1	32.0	13.3
N3	13.2	21.3	26.9	8.1	9.4	15.2	21.4	19.0	28.0	11.4
N4	28.4	42.6	26.9	4.7	25.0	18.2	7.1	16.7	8.0	12.4
N5	33.6	18.3	26.1	3.4	21.9	10.6	17.9	11.9	16.0	21.0
J1+	0.5	-	-	2.0	-	-	-	-	-	1.0
J1	0.8	-	0.7	0.7	-	1.5	-	-	-	-
J2	-	-	-	0.7	-	3.0	-	1.2	-	-
J3	0.3	0.5	-	0.7	-	-	-	-	-	1.0
J4	0.5	-	-	0.7	-	-	-	1.2	-	-
J5	1.0	0.5	2.2	1.4	-	-	-	2.4	-	1.0
その他	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	2.1	2.0	0.7	5.4	9.4	3.0	-	-	-	2.9

日本語試験について…

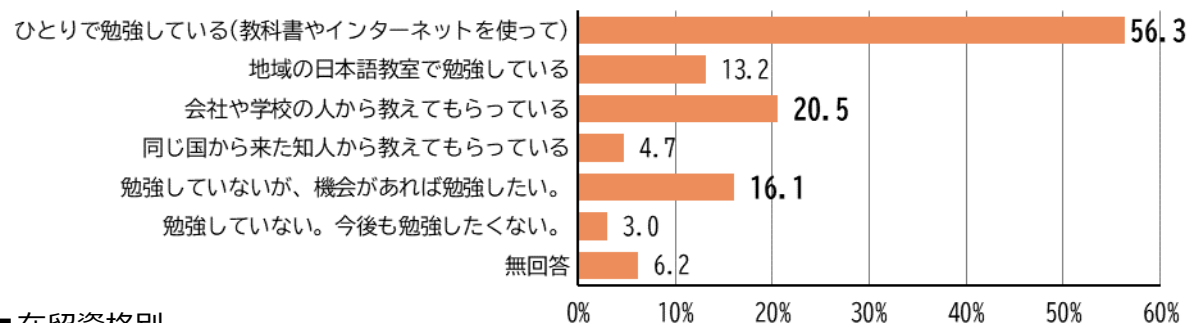
- 日本語能力試験（JLPT）
日本語を母語としない人の日本語の能力を評価する試験 N1～N5まであり、N1が最も高いレベル
 - ビジネス日本語能力テスト（BJT）
ビジネスシーンにおける実践的な日本語能力を測定する試験 スコア制で評価され、J1+～J5まであり、J1+が最も高いレベル
- その他にも試験はいくつかあり、目的や用途に応じて、受験することができます。

【日本語について】

⑥ 今、日本語を勉強していますか？（複数回答）

- 「ひとりで勉強している(教科書やインターネットを使って)」が56.3%で最も高くなっています。「会社や学校の人から教えてもらっている」が20.5%、「勉強していないが、機会があれば勉強したい。」が16.1%となっています。
- 在留資格別では「永住者、永住者の配偶者」や「日本人の配偶者」で、「勉強していないが、機会があれば勉強したい。」が、他の在留資格に比べて高くなっています。
- 日本語習熟別においては、習熟度【低】が「勉強していないが、機会があれば勉強したい。」の割合が【高】【中】に比べて、高くなっています。

全体 n=1,281



■ 在留資格別

	技能実習 n=387	特定技能 n=197	留学 n=134	永住者、 永住者の 配偶者 n=148	定住者 n=32	日本人の 配偶者等 n=66	家族滞在 n=28	技術 ・人文知識 ・国際業務 n=84	特定活動 n=25	その他 n=105
ひとりで勉強している(教科書やインターネットを使って)	67.4	73.6	23.1	37.8	56.3	57.6	67.9	67.9	88.0	56.2
地域の日本語教室で勉強している	6.7	5.1	58.2	8.1	18.8	7.6	10.7	9.5	4.0	16.2
会社や学校の人から教えてもらっている	22.5	22.3	33.6	10.1	28.1	10.6	10.7	21.4	28.0	23.8
同じ国から来た知人から教えてもらっている	6.2	5.6	3.7	2.7	6.3	1.5	10.7	3.6	8.0	3.8
勉強していないが、機会があれば勉強したい。	14.5	15.7	1.5	30.4	12.5	30.3	10.7	11.9	12.0	27.6
勉強していない。今後も勉強したくない。	1.8	1.0	2.2	11.5	6.3	3.0	3.6	3.6	-	1.0
無回答	0.3	0.5	1.5	8.1	3.1	4.5	3.6	4.8	-	1.0

■ 日本語習熟度別

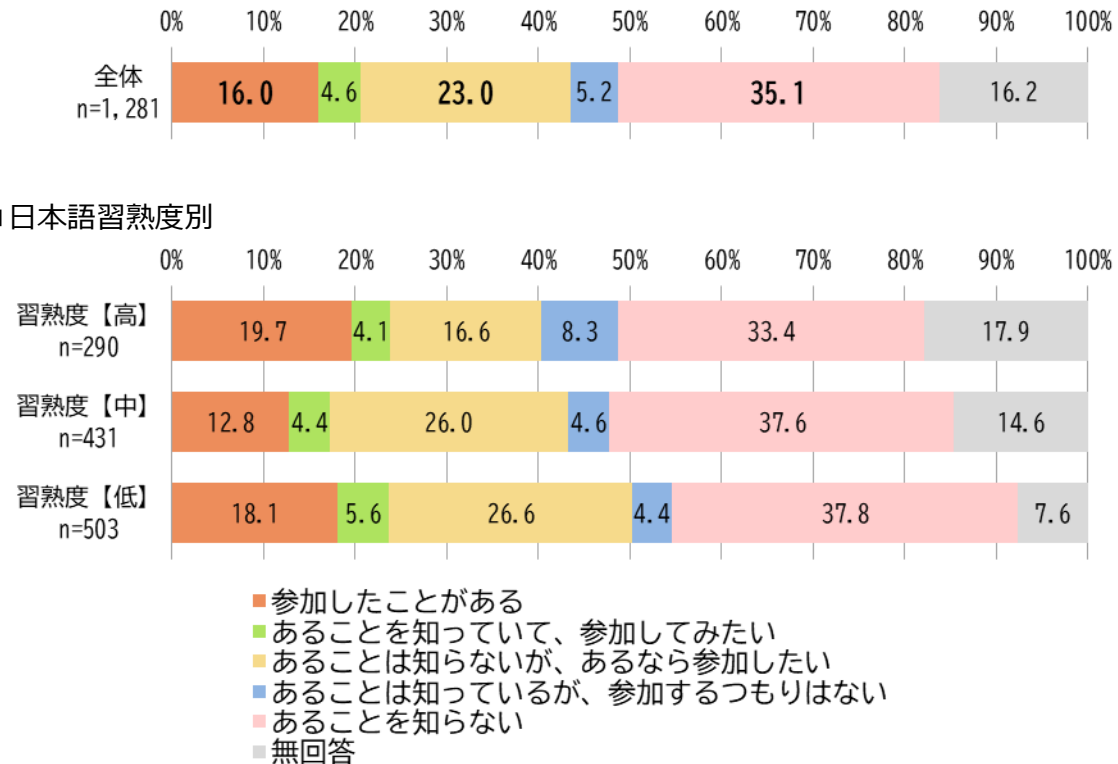
	習熟度【高】 n=290	習熟度【中】 n=431	習熟度【低】 n=503
ひとりで勉強している(教科書やインターネットを使って)	63.1	66.8	49.5
地域の日本語教室で勉強している	12.8	18.8	10.1
会社や学校の人から教えてもらっている	16.2	21.3	24.3
同じ国から来た知人から教えてもらっている	2.1	4.2	7.2
勉強していないが、機会があれば勉強したい。	11.0	9.5	26.4
勉強していない。今後も勉強したくない。	5.9	1.6	3.0
無回答	5.2	1.2	1.0

【日本語について】

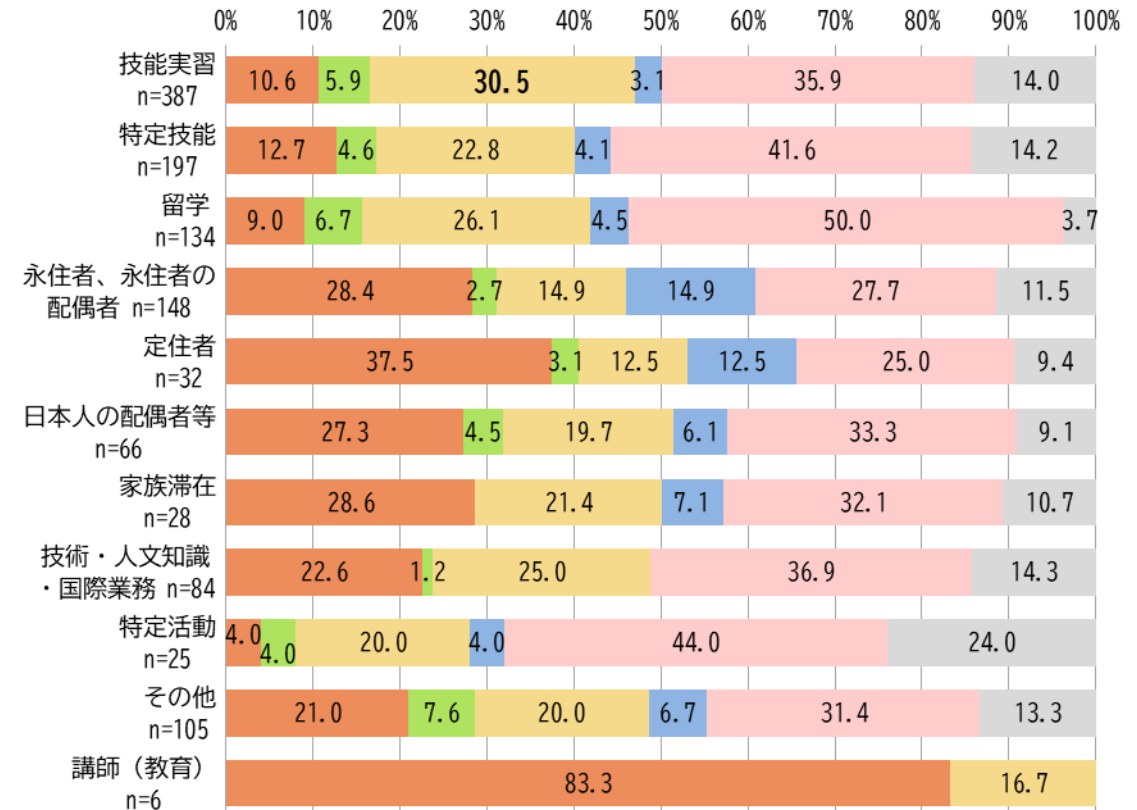
⑦ 市役所や交流館などでしている日本語教室に参加したことがありますか？

- 「あることを知らない」が35.1%で最も高くなっています。次いで「あることは知らないが、あるなら参加したい」が23.0%、「参加したことがある」が16.0%が続いています。
- 在留資格別では「技能実習」で「あることは知らないが、あるなら参加したい」が30.5%と比較的高くなっています。
- 日本語習熟度別では、どの習熟度においても「あることを知らない」の割合が高くなっています。

■日本語習熟度別



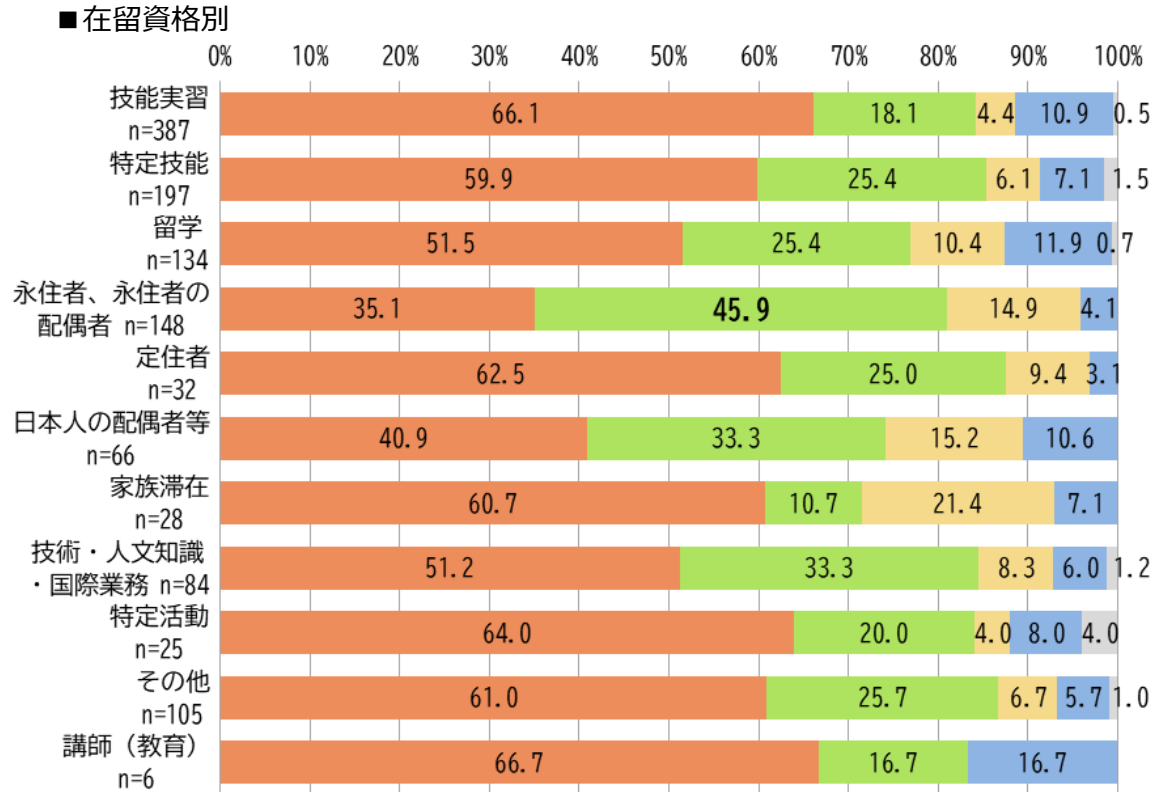
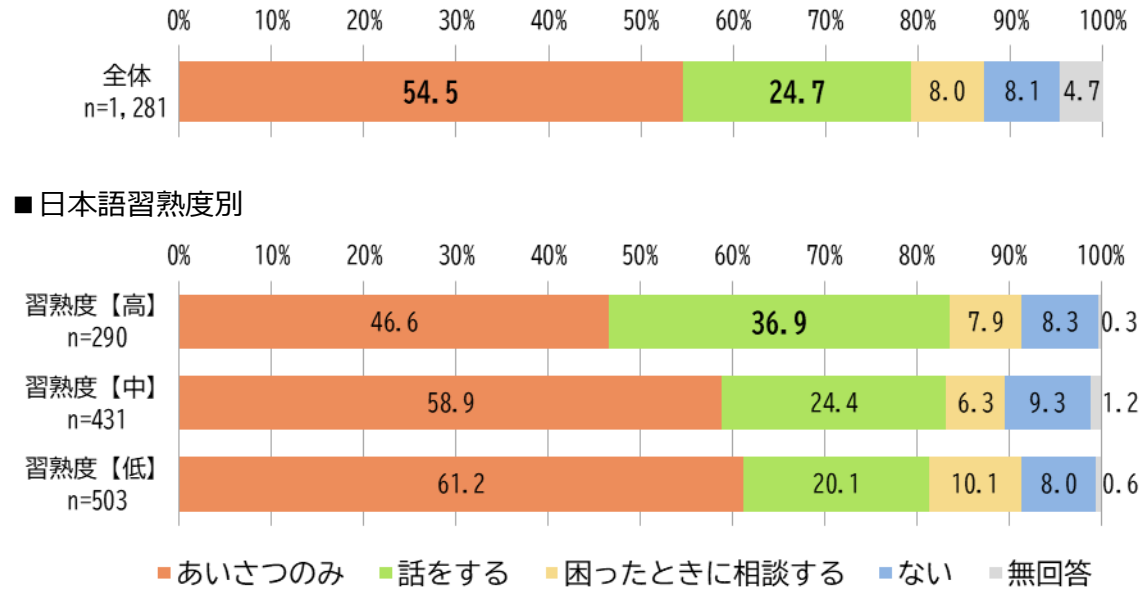
■在留資格別



【地域等との交流について】

⑧ 近所の日本人と話をすることがありますか？

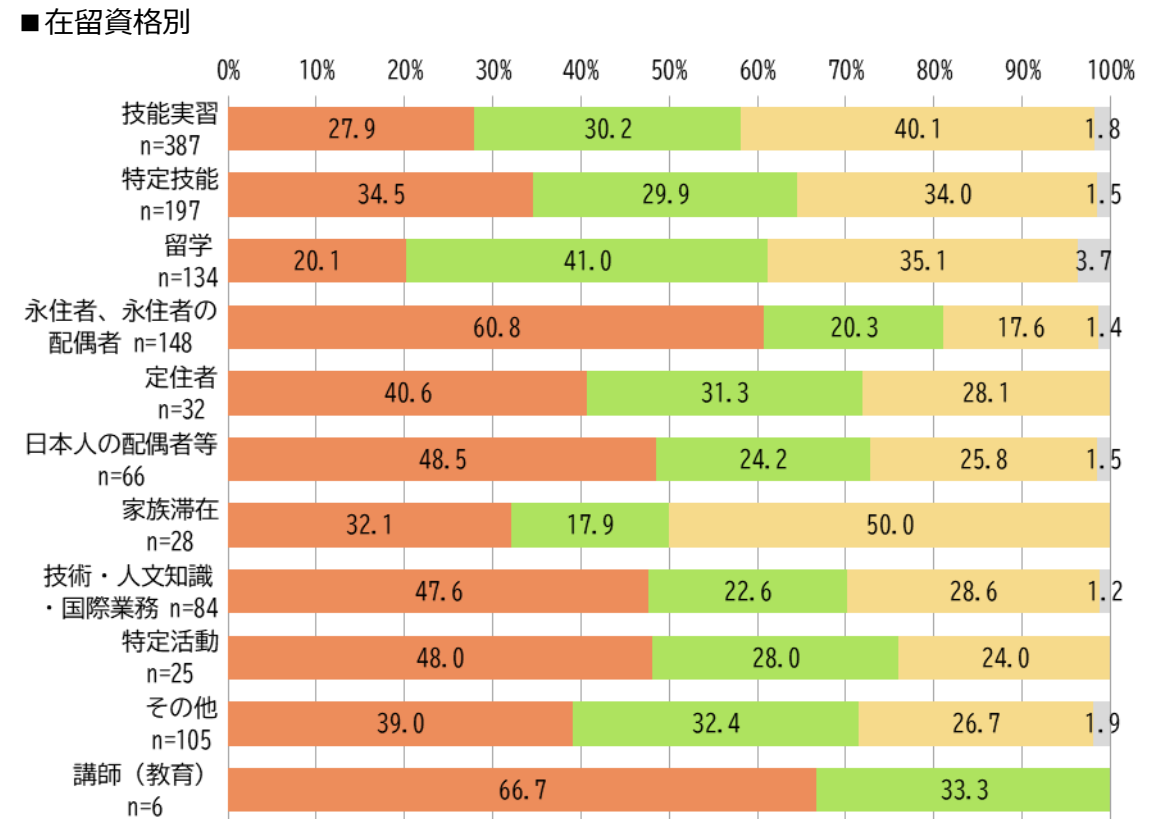
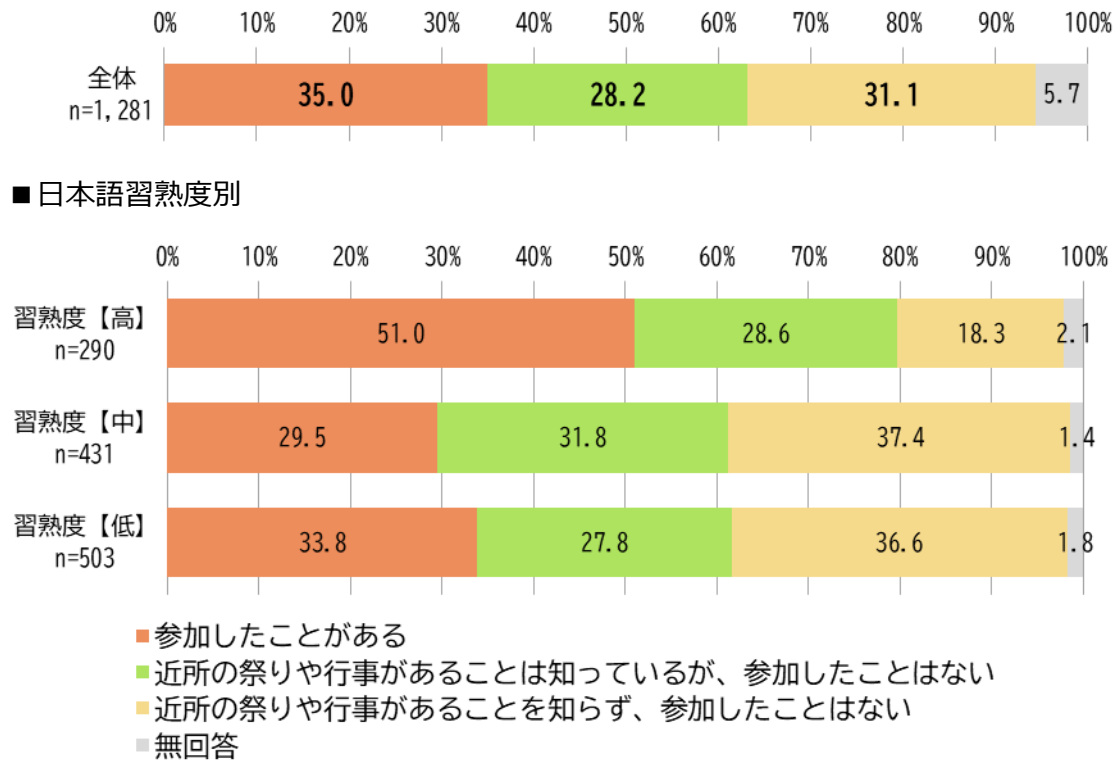
- ・「あいさつのみ」が54.5%で最も高く、「話をする」が24.7%となっています。
- ・在留資格別では「永住者、永住者の配偶者」で「話をする」が45.9%で最も高くなっています。
- ・日本語習熟度別では習熟度【高】で「話をする」が36.9%と比較的高くなっています。



【地域等との交流について】

⑨ 近所の祭りや行事に参加したことがありますか？

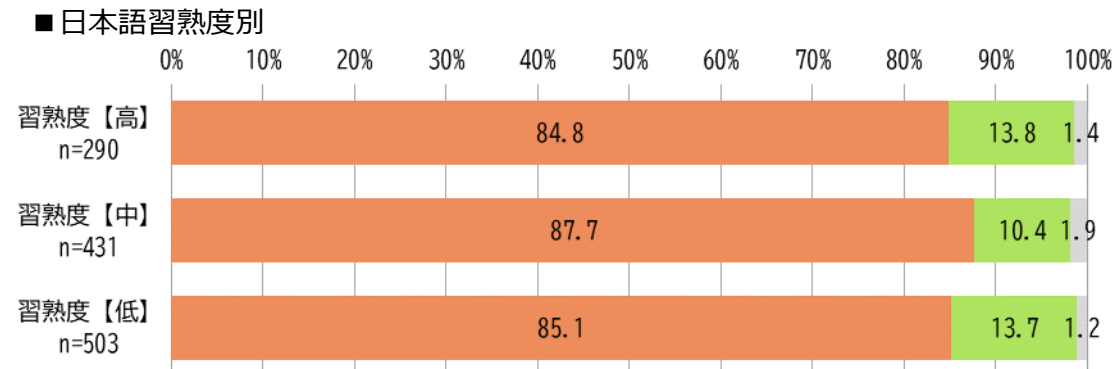
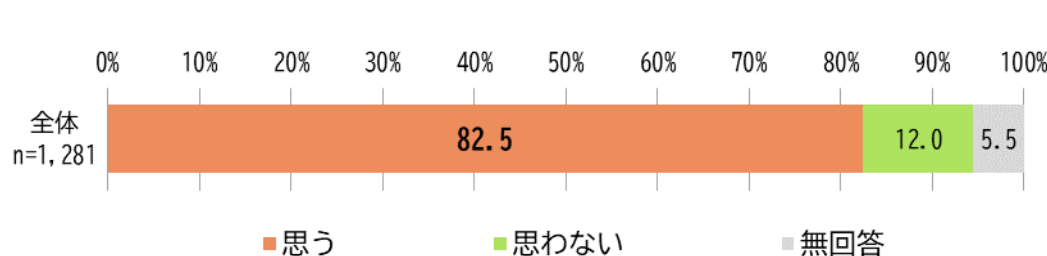
- 「参加したことがある」が35.0%で最も高く、次いで「近所の祭りや行事があることを知らず、参加したことはない」が31.1%、「近所の祭りや行事があることは知っているが、参加したことはない」が28.2%が続いています。
- 在留資格別では「技能実習」や「留学」で、「参加したことがある」の割合が低くなっています。
- 日本語習熟度別では習熟度【高】で、「参加したことがある」が比較的高くなっています。



【地域等との交流について】

⑩-1 近所の日本人と仲良くなりたいと思いますか？

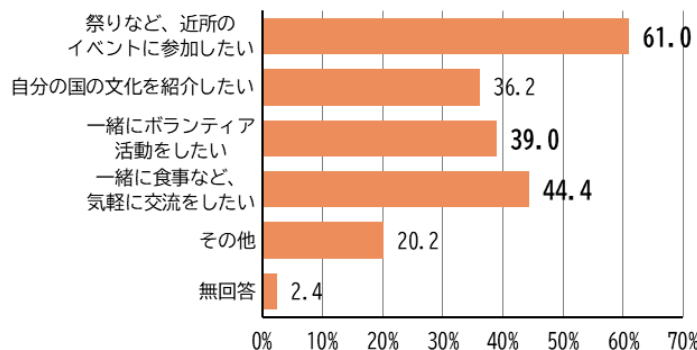
- 「思う」が82.5%を占めており、日本語の習熟度に関わらず、仲良くなりたいと思う割合が高くなっています。



⑩-2 近所の日本人と仲良くなったら、何がしたいですか？（複数回答）

- 「祭りなど、近所のイベントに参加したい」が61.0%で最も高くなっています。次いで「一緒に食事など、気軽に交流をしたい」が44.4%、「一緒にボランティア活動をしたい」が39.0%で続いています。
- 在留資格別では「留学」で「自分の国の文化を紹介したい」が比較的高くなっています。

全体 n=1,057



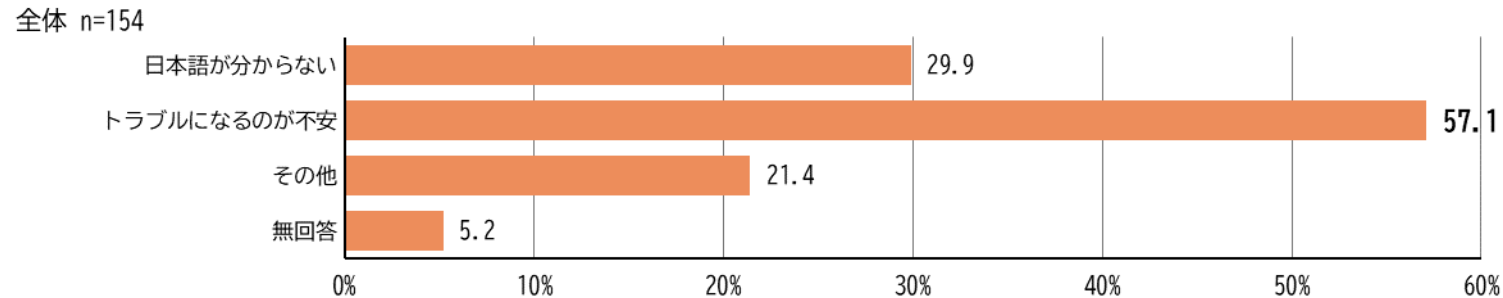
■在留資格別

	技能実習 n=339	特定技能 n=168	留学 n=115	永住者、 永住者の 配偶者 n=148	定住者 n=32	日本人の 配偶者等 n=66	家族滞在 n=28	技術 ・人文知識 ・国際業務 n=84	特定活動 n=23	その他 n=99
祭りなど、近所のイベントに参加したい	58.4	64.3	58.3	63.2	55.6	62.5	48.0	82.6	87.0	50.5
自分の国の文化を紹介したい	32.7	40.5	50.4	25.6	37.0	25.0	40.0	47.8	47.8	32.3
一緒にボランティア活動をしたい	37.5	35.1	37.4	29.1	55.6	33.9	32.0	52.2	34.8	55.6
一緒に食事など、気軽に交流をしたい	35.4	42.9	50.4	47.0	40.7	51.8	72.0	63.8	65.2	38.4
その他	12.7	23.2	24.3	27.4	22.2	19.6	8.0	13.0	34.8	29.3
無回答	3.2	1.2	-	5.1	-	7.1	4.0	-	-	-

【地域等との交流について】

⑩-3 近所の日本人と仲良くなりたいと思わない理由は？（複数回答）

- ・「トラブルになるのが不安」が57.1%を占めています。
- ・日本語習熟度別にみると、習熟度【中】で「トラブルになるのが不安」が高く、習熟度【低】で「日本語が分からない」が習熟度【高】【中】に比べて、高くなっています。



■ 日本語習熟度別

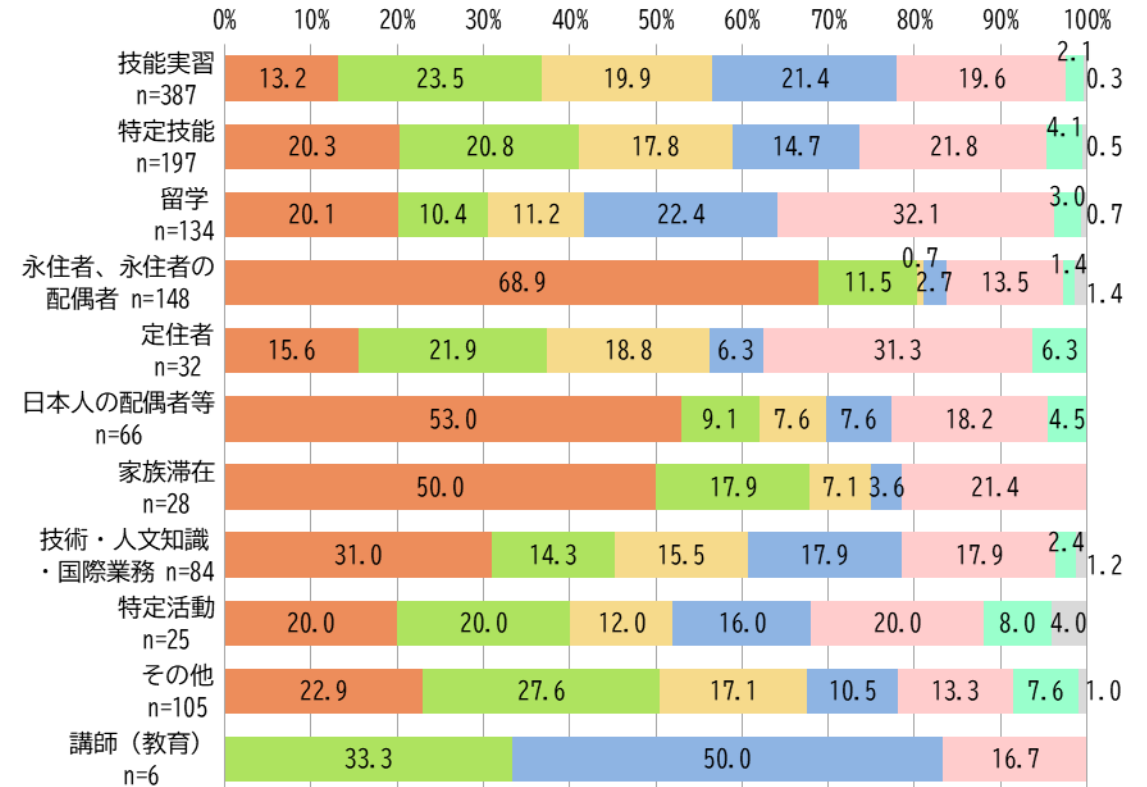
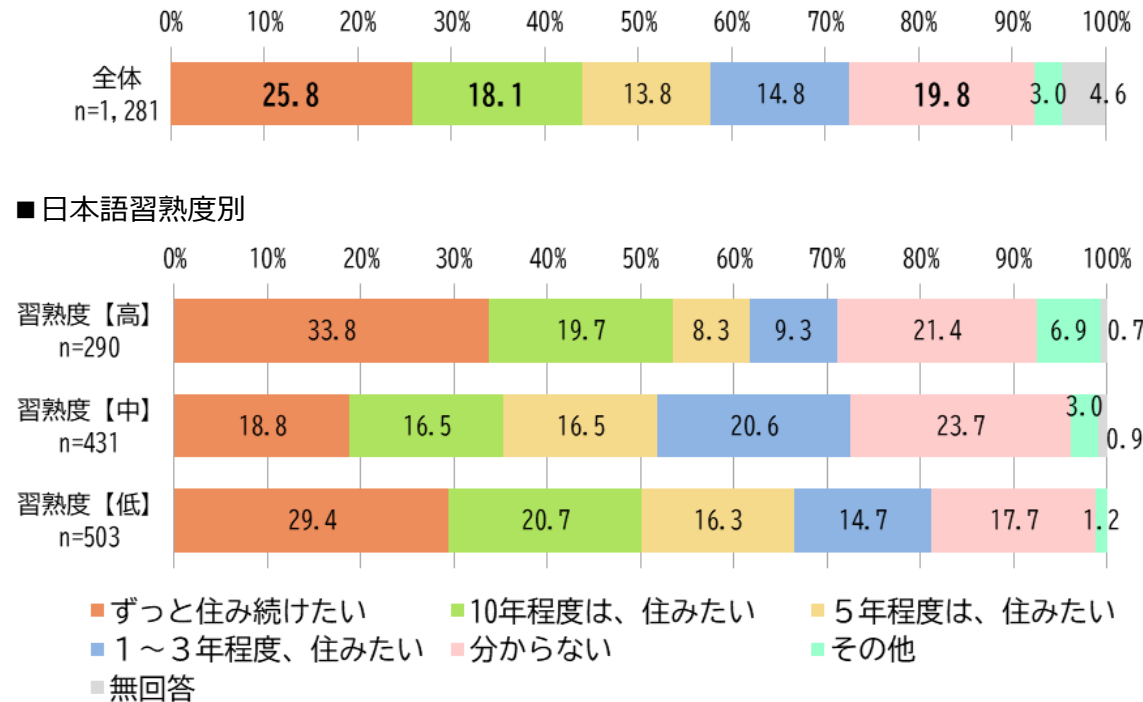
	習熟度【高】 n=40	習熟度【中】 n=45	習熟度【低】 n=69
日本語が分からない	2.5	24.4	49.3
トラブルになるのが不安	40.0	71.1	58.0
その他	50.0	15.6	8.7
無回答	10.0	-	5.8

【今後の滞在意向について】

⑪ 今住んでいる市や町に住み続けたいと思いますか？（複数回答）

- 「ずっと住み続けたい」が25.8%で最も高くなっています。次いで「分からない」が19.8%、「10年程度は、住みたい」が18.1%で続いています。
- 在留資格別では「留学」で、「分からない」の割合が高くなっています。
- 日本語習熟度別では習熟度【高】で「ずっと住み続けたい」が高く、習熟度【中】で「分からない」が高くなっています。

■在留資格別



(2) 備後圏域の暮らしに関する住民アンケート

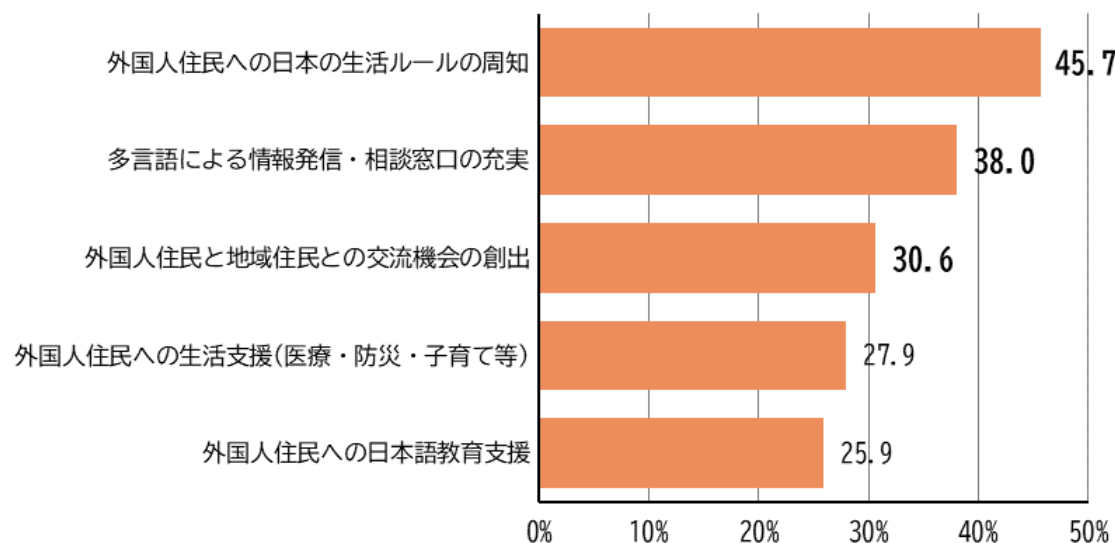
- 期間 2024年（令和6年）6月13日～7月8日
- 対象者 備後圏域7市2町に住民登録されている18歳以上の住民（無作為抽出）5,000人
- 回答方法 インターネット（Web回答）及び郵送
- 実施主体 福山市
- 回答状況等 1,493人（三原市137人、尾道市135人、福山市526人、府中市124人、竹原市112人、世羅町120人、神石高原町111人、笠岡市121人、井原市107人）
- 調査項目 「多文化共生のまちづくりの推進」について

【「多文化共生のまちづくりの推進」について】

備後圏域市町の連携による取組について、特に力を入れるべきだと思うものを、教えてください。
(個々の市町だけで取り組むべきことではなく、連携して取り組むべきことを教えてください。)

- 「外国人住民への日本の生活ルールの周知」が45.7%で最も多く、次いで「多言語による情報発信・相談窓口の充実」が38.0%、「外国人住民と地域住民との交流機会の創出」が30.6%となっています。
- 年代別にみると、「30歳代」「40歳代」で「外国人住民への日本の生活ルールの周知」の割合が高くなっています。

回答者数：1,493件



属性		多言語による 情報発信・相談 窓口の充実	外国人住民への 日本語教育支援	外国人住民への 生活支援(医療・ 防災・子育て等)	外国人住民への 日本の生活 ルールの周知	外国人住民と 地域住民との 交流機会の創出
全体 (n=1,493)		38.0	25.9	27.9	45.7	30.6
住所	三 原 市 (n=137)	38.0	25.5	31.4	45.3	26.3
	尾 道 市 (n=135)	38.5	25.2	24.4	51.1	31.1
	福 山 市 (n=526)	39.0	27.2	27.4	48.3	27.4
	府 中 市 (n=124)	33.1	29.0	30.6	50.0	30.6
	竹 原 市 (n=112)	47.3	23.2	25.0	41.1	30.4
	世 羅 町 (n=120)	37.5	24.2	30.0	40.8	33.3
	神石高原町 (n=111)	40.5	26.1	31.5	28.8	40.5
	笠 岡 市 (n=121)	33.1	19.0	28.9	52.9	34.7
	井 原 市 (n=107)	31.8	29.0	23.4	41.1	33.6
年代	18～19歳 (n=16)	50.0	25.0	6.3	37.5	31.3
	20～29歳 (n=101)	51.5	38.6	18.8	41.6	20.8
	30～39歳 (n=135)	42.2	22.2	20.7	51.9	30.4
	40～49歳 (n=218)	36.7	24.8	26.1	53.7	27.5
	50～59歳 (n=234)	45.7	23.5	32.1	48.7	22.2
	60～69歳 (n=302)	35.1	23.8	31.8	43.0	33.1
	70～79歳 (n=320)	30.3	25.9	28.4	43.1	39.7
	80歳以上 (n=164)	36.0	29.9	29.3	39.0	31.1

びんご圏域多文化共生推進ビジョン

発 行：広島県三原市・尾道市・福山市・府中市・竹原市・
世羅町・神石高原町・岡山県笠岡市・井原市

編 集：福山市市民局まちづくり推進部多様性社会推進課

〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号

電話番号 084-928-1002 FAX 084-928-1229